

2025年度

教育学会  
学生・教員連絡会(冬)



期日： 2026年2月20日

時間： 10:00

場所： 板橋キャンパス 3号館0101教室(法廷教室)

## 目次

### ○ 学生・教員連絡会(冬)プログラム

- 第1号議案 2025年度活動報告及び決算報告  
教育学会運営委員会  
教育学会後援団体 大合宿  
教育学会後援団体 球技  
教育学会後援団体 コンサート(ミュージック&ダンス)  
教育学科共催行事実行委員会
- 第2号議案 2025年度活動計画及び予算案  
教育学会運営委員会  
教育学会後援団体 大合宿  
教育学会後援団体 球技  
教育学会後援団体 コンサート(ミュージック&ダンス)  
教育学科共催行事実行委員会
- 第3号議案 後援団体用口座開設断念の報告
- 第4号議案 機関紙『緑育』の発行回数変更の提案
- 教育学会則

教育学会則第3章第11条3項及び第7章第36条に基づき  
学生・教員連絡会を開催いたします。

## 2025年度 教育学会運営委員会活動報告

団体名	教育学会運営委員会	
委員長	学籍番号	23114078
	氏名	猪飼 大佳
副委員長	学籍番号	23114132
	氏名	渡邊 心
	学籍番号	24114130
	氏名	渡邊 伶歩
書記	学籍番号	23114088
	氏名	近藤 亜岐
	学籍番号	24114025
	氏名	伊藤 沙菜
会計	学籍番号	23114082
	氏名	遠藤 雅也
	学籍番号	24114045
	氏名	藤尾 陸翔

以上、教育学会則第5章第24条に定める常任役員7名

構成員	4年生(参与)		3年生		2年生		1年生(準運営委員)			
	4A	發知 里世音	3A	浅野 維吹	2A	齋藤 葵郎	1A	久留島 澄央	1D	加藤 来実
	4A	弓削 真波	3A	倉持 蓮	2A	東條 聖	1A	小河原 やよい	1E	関根 悠莉
	4B	木滝 大夢	3B	北岡 大樹	2A	高野 颯平	1B	外館 和	1E	則近 至雄
	4C	遠矢 春乃	3C	猪飼 大佳	2B	矢治 多紀音	1B	大館 優奈	1E	林 子韜
	4D	青木 栄斗	3C	遠藤 雅也	2C	佐藤 早矢翔	1B	森川 夏帆	1F	笠原 幹太
	4D	小川 祐哉	3D	近藤 亜岐	2D	伊藤 沙菜	1B	永治 優菜		
	4D	杉澤 主税	3D	東龍亮	2D	藤尾 陸翔	1B	三ツ木 翔子		
	4D	富田 実乃梨	3D	渡邊 心	2D	大塚 美穂	1C	伊藤 周助		
	4E	種田 貴志	3E	梶田 莉帆	2D	渡邊 伶歩	1C	上野 星奈		
	4E	當山 陽那太	3F	吉田 真菜	2E	佐藤 積己	1C	中村 芳仁		
	4F	山口 直			2F	留目 蒼	1C	渡邊 凜		
	4F	古畑 歳景					1D	小峰 歩乃佳		

会議期間	2025年5月～2026年5月
実施場所	東松山キャンパス60周年記念講堂・2号館教室・8号館教室
活動内容報告	<p>【教育学会総会】開催日:2025年5月21日(火) 運営委員会、後援団体(共催行事実行委員会含む)、非常設後援団体の令和5年度活動報告・決算報告ならびに、令和6年度運営委員会と会計監査の解任を行った。また、令和7年度運営委員会と会計監査、活動申請案・予算案の申請を行い、学会員の承認を得た。</p> <p>【春季定例会】開催日:2025年5月21日(火) 教育学会則第3条、4条に基づき、「AIとの距離感、近すぎ危険、遠すぎ無縁」というテーマで開催した。委員の発表や様々な体験活動を通して、AIの扱い方、向き合い方について実践に基づいた学びの時間にすることができた。</p> <p>【ゼミ説明会】開催日:2025年10月20日(月) ゼミ選択をよりよいものにしてもらうため、ゼミに所属する学生の協力を得て、東松山キャンパス60周年記念講堂にて2年生を対象としたゼミの説明会を行った。</p> <p>【秋季定例会】開催日:2025年10月14日(火) 教育学会則第3条、4条に基づき、勝呂ちひろ氏を迎えて、「ヤングケアラー」というテーマで講演会を開いた。講演を通して、ヤングケアラーとは何なのか。という初步的な部分から、実際にあった話について考えることができ、学びを深める時間になった。</p> <p>【機関誌・機関紙の発行】開催日:2025年5月～2025年12月(学会誌のみ3月予定) 教育学会則第3条、4条に基づき、機関誌「学会誌」は年に1回、機関紙「緑育」は年に2回発行した。緑育はDBmanabaを活用したオンラインでの配布に加え、紙媒体での配布も並行して行った。</p> <p>備考 上記の企画実現・諸問題解決のため、通じて毎週月曜日に対面形式で会議を行った。</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習をより豊かにする学習の場の提供 →定例会等の企画を通して、学会員同士が進んで自分の学習に彩りをつけることができる場を提供することができた。今、学生が疑問に思っていることを学ぶ場が生まれたことで、学会員がより密接に将来へと向き合うきっかけを作ることができた。</li> <li>・後援団体とのより密接な検討 →大合宿の実地踏査の同行、施設変更の対応などを通じて、例年より密接に後援団体との活動の検討を行うことができた。</li> </ul>
反省点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会行事での参加者数の少なさ →総会や春季定例会、秋季定例会など例年より欠席者数の少なさが目立った。 [対策] →開会時間の再検討、直接学生へ学会活動に参加することの目的と意義を伝える機会を改めて作るなど、学会員視点で課題を見つめ直し、対策を実践していく。</li> <li>・年間の会議内容の見直し →夏の連絡会の際に秋季定例会の講師が確定していない、総会の前に質問の対策や検討ができていない。というような事前の計画の不安定さが目立っていた。 [対策] →会議時間外に役職ごとに仕事を進めておくなどの会議のあり方の見直しと、行事の日程だけでなく会議の予定もより洗練されたものにしていく。</li> </ul>
総括	<p>今年度も全ての会議を対面形式で実施することができた。 今年度は、運営委員会が企画する行事や発行物以外に、後援団体の活動の中で発生した課題への取り組みもできた。例年、それぞれの団体が企画する行事を団体内で取り組んでいくというシステムであったが、教育学会の行事がより意味のあるものになるよう、後援団体との協力も大事にしていきたい。</p> <p>今年度はイレギュラーな対応を迫られる場面があったが、今まで以上に他後援団体や教職員の皆様と連携をとりながら1つずつ解決する事ができた。来年度以降もこのような運営委員会外の団体及び教職員の皆様と密に連携しながら学会運営を行なっていきたい。</p>

## 秋季定例会開催報告書

行事名	教育学会秋季定例会	
統括	学籍番号	23114041
	氏名	北岡大樹
副統括	学籍番号	23114132
	氏名	渡邊心

### 活動内容

実施日	2025 年 10 月 14 日
実施場所	大東文化大学東松山キャンパス60周年記念講堂
活動内容報告	今回の秋季定例会で扱ったテーマは「ヤングケアラー」。講師の方に一般社団法人Omoshiroから代表理事の勝呂ちひろ(すぐろちひろ)様と理事の青木大三(あおきひろみ)様をお呼びして講演会を行った。公演時間は9時半から11時半、休憩10分を含む計2時間で、前半一時間はヤングケアラーに関する座学を行い、もう一時間で講師の方と学生によるグループワーク、フィールドワークを行った。講師の方とは当日の一週間前ほどにzoomで事前打ち合わせや当時の流れの確認を行った。当日の流れがスムーズになるように前日まで委員の人たちと念入りな準備を行った。
成果	今回の講演会の運営に関われたことで、ヤングケアラーの認知や現状、抱えている課題などを参加者に伝える機会を提供することができた。事前に講師の方と多く連絡を取り合うことができたため、講演会当日には大きなトラブルといえるものではなく無事に終わることができ、開催者としての役割をしっかりと果たすことができたと思う。また、参加者側も講演内容に向き合う姿勢が多くみられ、事後アンケートからも満足の声を多くいただいたので、ヤングケアラーへの理解を深める場をしっかりと設けることができ、当初の目的を一定程度達成できた。
反省点・改善点	当日の日程調整や会場の確保と講師の方の候補日程を合わせるのに今回とてもこづったことが一番の反省点として挙げられる。こちらの判断ミスや確認ミスにより、講堂の借用可能日の確認と講師の方の候補日から講演の日程を確定する作業を逆に行ってしまった。そのため、講師の方から上げていただいた候補日に講堂が借用できないという事態になってしまった。幸い、講師の方が快く後に確認した講堂借用日に合わせてくださったおかげで、無事に当日を迎えることができたが、今後はこのようなことが起こらないよう注意して引継ぎを行っていきたい。また、今回の秋定の学年別の参加率に非常にばらつきが見えたため、来年度は開催曜日や日付も意識して決めていきたい。

## ゼミナール説明会開催報告

行事名	ゼミナール説明会	
統括	学籍番号	23114015
	氏名	浅野 維吹

### 活動内容

実施日	2025 年 10 月 20 日
実施場所	東松山キャンパス60周年記念講堂
活動内容報告	来年度からゼミナールに所属する2年生に対して、ゼミナールについて知る機会を作るために東松山キャンパスでゼミ説明会を開催した。すべてのゼミナールの活動等について知った上でゼミ選択をしてもらえることを目標としていたため、個別相談会の前にスクリーンを用いた全ゼミナールの説明を聞いてもらう時間を設けた。また、ゼミ選択に対する情報源として冊子の作成を行った。各ゼミナールに自分が所属しているゼミについての説明等をまとめた資料を作成してもらい、それらを冊子にし2年生に配布した。
成果	全ゼミナールの説明を聞く時間を設けたことで、今まで情報が得られていなかったゼミナールの活動内容等についても知ることができゼミ選択の幅を広げられた。また、ゼミ生である学生と話すことでそのゼミナールの良さや雰囲気を感じることができるとともに学生の間の交流を行うことが出来た。 参加者数:40人
反省点・改善点	今年度は、2年生の時間割の都合により、前年度と比べて参加人数が少なかった。そのため、来年度は2年生の時間割を確認し、参加人数の増加を図りたい。

## 大合宿実地踏査同行開催報告

行事名	大合宿実地踏査同行	
同行者	学籍番号	23114078
	氏名	猪飼 大佳
	学籍番号	23114132
	氏名	渡邊 心
	学籍番号	23114082
	氏名	遠藤 雅也
	学籍番号	24114130
	氏名	渡邊 伶歩

### 活動内容

実施日	2025 年 8 月 20 日 ~ 8 月 21 日
実施場所	横浜市少年自然の家 赤城林間学園
活動内容報告	- 実地踏査の活動内容報告に関しては後ほどどの教育学会後援団体大合宿の活動報告の欄を参照ください。

成果	<p>今回の同行の認識として、実地調査が大合宿委員会でのみ行われることから、学会の一部より透明性に欠けるのではないかという意見をいただいた。その点を踏まえこの活動が学会費を使う活動として適切であるかについての確認を行うべく、実地調査同行を企画し実行するに至った。その点では、実地調査が大合宿本番に向けた有意義な活動であることが確認できたことが大きな成果である。</p>
反省点・改善点	<p>今回運営委員会として同行したが大合宿委員を見守ることしかすることなく、本番に向けた大合宿委員による有意義な活動を確認できた一方で運営委員による同行そのものの利点を感じることができなかつた。大合宿本番の内容を知ることにもつながり、お互い配慮しながらの窮屈な活動であったとも感じる。現時点では来年度以降の同行は企画しておらず、大合宿及び他団体との検討のもとこのような同行は行っていく予定である。</p>

2025年度教育学会決算

2025年4月1日～2026年3月31日

項目			予算額	決算額	執行率		
収入の部	会費収入	入学生学会費	¥7,000×入学生154名	1,078,000	1,078,000		
		編入生学会費		0	0		
		大学院生学会費	¥7,000×入学生8名	56,000	56,000		
			会費収入合計	1,134,000	1,134,000		
			繰越金	3,597,982	3,597,982		
			利息	0	0		
	収入の部 合計		4,731,982	4,731,982	-		
運営委員会 支出の部	教育学会総会	通信費支出	教育学会総会資料郵送代	5,000	11,338		
		接待交際費支出	教育学会総会役員への花束代	6,000	6,000		
		教育学会総会支出合計		11,000	17,338		
	春季定例会	消耗品支出	春季定例会に関する消耗品	10,000	220		
		春季定例会支出合計		10,000	220		
	秋季定例会	消耗品支出	秋季定例会に関する消耗品	20,000	0		
				3,500	3,500		
		秋季定例会講師への弁当代		1,000	3,000		
		秋季定例会講師へのお茶菓子代		3,000	0		
		秋季定例会講師への交通費		0	0		
	秋季定例会支出合計		27,500	6,500	24%		
	ゼミ説明会	一般旅費支出	ゼミ説明会講演者への交通費	68,000	17,860		
		ゼミ説明会支出合計		68,000	17,860		
	教育学会誌	支払手数料支出	秋季定例会文字起こし	30,000	21,068		
			学会誌印刷製本	350,000	0		
			学会誌印刷製本振込手数料	500	0		
		教育学会誌支出合計		380,500	21,068		
	印刷費	印刷製本費支出	会議資料及びイベント資料印刷費	30,000	8,491		
		印刷費支出合計		30,000	8,491		
	雑費		10,000	770	8%		
	支払い手数料支出		3,000		0%		
	公開ゼミ	イベント補助費支出	公開ゼミ補助費	60,000	0		
			公開ゼミ予備費	20,000	0		
		公開ゼミ支出合計		80,000	0		
	大合宿実地踏査同行	搬送車両費支出		30,000	37,308		
		大合宿実地踏査同行支出合計		30,000	37,308		
	運営委員会支出合計		650,000	109,555	17%		
後援団体	後援団体補助支出	後援団体大合宿援助支出		507,380	0%		
		後援団体球技援助支出		141,440	0%		
		後援団体コンサート援助支出		229,400	0%		
		後援団体予備費合計		40,000	20,000		
	後援団体支出合計		918,220	20,000	2%		
その他	大学院生	未還元学会費		0	#DIV/0!		
		研究支援費		28,000	0		
		大学院生支出合計		28,000	0		
		学会費返金			#DIV/0!		
		その他支出合計		28,000	0		
	支出の部 合計		1,596,220	129,555	8%		
2024年度収支差額				3,135,762	4,602,427		
次年度繰越金				-	4,602,427		

貴団体の予算申請を受理しました。

年    月    日   

教育学会会計

印

教育学会会計

印

# 2025 年度 教育学会後援団体活動報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 12 月 26 日

申請者 浅井俊亮□ 印

団体名	教育学会後援団体 大合宿		
団体責任者	学籍番号	23114034	役職名 代表
	氏名	浅井俊亮□	印
副責任者	学籍番号	23114122	役職名 副代表
	氏名	小熊琉聖	印
会計責任者	学籍番号	23114108	役職名 副代表
	氏名	榎本穂乃香	印
団体構成	学籍番号	23114004	役職名 会計
	氏名	中澤優	印
団体構成	4年生 0 名 3年生 9 名 2年生 6 名 1年生 17 名	合計 32 名	

## 活動内容 【 大合宿 】

実施日	9月 4. 5. 6	実施場所	横浜市少年自然の家赤城林間学園
会議期間	2024 年 10 月 21 日 ~ 2025 年 10 月 13 日	( 32 回実施 )	
参加人数	4年生 26 名 3年生 23 名 2年生 21 名 1年生 14 名	合計 84 名	
活動内容報告	活動の流れ 週1回の会議からなる。・企画会議で企画の発案、会議全体で出た案についての討議を行った。・12月から2月にかけて施設探しを行い、以降は企画の準備を進める。・定期的に東松山の体育館や緑山キャンバスの体育館を借用し、レクリエーションのシミュレーションを行う。・本番同様の活動場所や時間配分で行うシミュレーション(実地踏査)を一度実施した。・当日後に反省を行う。		

	当日の流れ
	大合宿本番
	1日目 8:00 高坂出発 10:00施設到着 移動 10:30 1日目レク開始 60分 11:30 1日目レク終了 移動 11:45野外炊事開始 13:45野外炊事終了 移動 14:00入所式開始 30分 14:30入所式終了 移動 14:45 1日目レク開始 120分 16:45 1日目レク終了 移動 17:00 部屋帰宅 45分 移動 18:00夕食開始 60分 19:00夕食終了 移動 19:15 4年レク開始 60分 20:15 4年レク終了 移動 20:25入浴準備 移動 20:35入浴開始 55分 21:30 入浴終了 22:00就寝
活動内容報告	2日目 6:30起床 移動 7:00朝食開始 60分 8:00朝食終了 移動 8:15 2星レク開始 145分 10:40 2星レク終了 移動 10:55野外炊事開始 150分 13:25野外炊事終了 移動 13:40水企画開始 50分 14:30水企画終了 移動 14:45着替え開始 60分 15:45着替え終了 移動 16:00 2夜レク開始 50分 16:50 2夜レク終了 17:00ダンス練習開始 50分 17:50ダンス練習終了 休憩 18:00夕食開始 60分 19:00夕食終了 移動 19:15キャンプファイヤー開始 60分 20:15キャンプファイヤー終了 移動 20:25入浴準備 移動 20:35入浴開始 55分 21:30 入浴終了 移動 22:00就寝

3日目	
6:30起床	
移動	
7:00朝食開始	60分
8:00朝食終了	
移動	
8:15 掃除点検開始	45分
9:00掃除点検終了	
移動	
9:15 3日目レク開始	150分
11:45 3日目レク終了	
移動	
12:00昼食開始	60分
13:00昼食終了	
移動	
13:15後援団体紹介開始	
13:25後援団体紹介終了	
4年の話開始	
13:55 4年の話終了	
休憩開始	
14:05 休憩終了	
表彰式開始	
14:25表彰式終了	
うちわ寄せ書き開始	
14:55うちわ寄せ書き終了	
移動	
15:10通しスライドショー開始	
15:30通しスライドショー終了	
写真撮影開始	
16:00写真撮影終了	
移動	
16:20施設出発	120分
18:20高坂到着	

(m)伊知地・小林、TK 泉、音響大原、助つ人 10 人)

- ①班に 1 つ 1 人用のキャタピラを配って散らばってるおもちゃをキャタピラに乗る人がつめていく
- ②全ての役割を交代しながら進める
- ③キャタピラに乗る人は陣地に帰ってきたら次の人に交代していく
- ④(キャタピラは 1 人用と二人用が 1 つづ)(キャタピラが取つていおもちゃの数:10 個)
- ⑤虫取り網さん(5 個まで)
- ⑥あめんぼさん(あめんぼの手をつけてあめんぼのように移動しながらおもちゃを取っていく)
- ⑦陣地にいる人がキャタピラの人が持ってきたおもちゃをピラミッド状に積み上げていく
- ⑧集めたおもちゃを陣地にいる待機者が崩れないように積み上げていく
- ⑨(おもやは陣地の中に入っていてもタワーに積み重なっていなかつたら点数にはならない、制限時間内に積み上げていたおもやの高さで順位がつく)
- ⑩特殊おもや
- +5そのおもやがとれたら委員に持っていくと追加で 5 個のおもやを獲得できる)
- 他の班を攻撃玉でおもやタワーを攻撃できる(攻撃の際は陣地の輪の外から)
- 他の班を風船鉄砲で攻撃できる(攻撃の際は陣地の輪の外から)
- (攻撃する人はキャタピラの人以外で。)
- ⑪班に 1 つ防御アイテム(盾)がありそのアイテムでのみ攻撃玉や風船鉄砲からの攻撃を防げる
- ⑫制限時間 3 分、2 回戦形式
- 【禁止事項】
- 他の班のタワーをボール以外で攻撃すること
- 役割の交代をしないこと
- 他の班の陣地に入ること
- 【締めレク】
- 「家族リレー」(MC 伊知地・大原、TK 小林、音響川上、助つ人 10 人)

活動内容報告	
成果	<p>・レクリエーションを通し、班員同士を中心とした新たな交友関係を築くことができた。・レクリエーションを通し、班員同士で協力し合って活動することで主体性や協調性を育むことができた。・レクリエーションを行うことで、MCやタイムキーパー、集計等のレクリエーションでの役回りを確認することができた。</p>
反省点・改善点	<p>多くの参加者に来ていただくことができたが、後援団体外の参加の方が少なかったため、教育学科内でたくさんの参加者に来ていただくという課題が残った。・雨天などのイレギュラーの想定が甘かったため、代案を事前に考えておくべきだった。・入浴時の時間配分に苦労し、参加者の方が遅れてはいったり、委員が遅くなってしまうということがあったため、もう少し時間に余裕を持つべきだった。</p>

## 活動内容 【 実地調査 】

実施日	8月 21. 22			実施場所	横浜市少年自然の家赤城林間学園		
参加人数	4年生 0 名	3年生 9 名	2年生 6 名	1年生 16 名	合計	31 名	
<p>【1日目】  <b>【テーマ】動物レク</b>  『設定』動物王国の王である老いぼれライオンは寿命が短く、次の王を探そうとしていた。ライオンはたくさんの試練を用意し、その中で多くの試練を乗り越えた動物を次の王に決めると言った。  出会い①「大変！台風でバラバラになっちゃった！仲間を探せ！タヌキの大捜索」  (MC:朽木、上原、関根 音響:門倉 タイムキーパー:嶋村)  1. 参加者全員にプロフィールカードを渡す。  内容:タヌキ山、性格、好きなもの、特技、喋り方(語尾の指定がある) 班の人数も書いてある。  2. 自己紹介しながら仲間を探していく。  ※話しているのは 1 人につき 1 個まで  3. 班員が集まつたら山を目指す。  禁止事項  ・プロフィールカードを他の人に見せること  ・同じ人に 2 回以上質問すること  ・仲間全員が集まらないのに山に行くこと  フェイク班完成！  小レク「魚？いや果物でしょ！いっぱい釣ろうね♪フルーツフィッシング！」  (MC:嶋村、門倉 音響:上原 タイムキーパー:朽木、関根)  1. 真ん中に果物がたくさんある。  2. 大きい釣り竿を使い、各班リレー形式で 1 人ずつ果物を釣ってくる。  ※1 回につき 1 個しか釣れない  3. 2 分間を 2 回戦行い、いちばん多くの果物をとってきた班の勝ち。  禁止事項  ・手で果物を取ること  ・1 回につき 2 個以上釣ること  出会い②フェイク班から本当の班へ  1. レクのご褒美として全員餌がもらえる。  2. 餌を開けたら小さい餌が入っている。  3. たぬきから動物たちに化ける！  開けるときにみんなで“ぽんぽこた一ぬき”と言う。  4. 動物の被り物を渡す。  5. 自己紹介する。  本当の班完成！  レク①「意思疎通？ぐるぐるぐるピカーン！お絵描きちゃんねる～」  (MC:上原、朽木 音響:関根 タイムキーパー:嶋村、門倉)  1. 画用紙とマジックペンを渡す。  2. お題(○○をしている動物)を読んでジェスチャーする人、それを見て絵を描く人、答える人にわかる。  答える人は助っ人に伝える。  ※パスもあり  3. 5分3回戦行う。  1 回戦ごとに役割を交代する。  4. 制限時間の中で正しい答えを多く答えられた班の勝ち。  禁止事項  ・仲間に伝えるときに喋ること  ・ジェスチャーする人以外がお題を見ること  レク②「はつはつはつはつ背後には気を付けて。恐竜さんを助けろ！とげとりがっ祭」  (MC:関根、門倉 音響:朽木、嶋村 タイムキーパー:上原)  1. 班の中で恐竜 2 人と守る人 2 人決めて、他の人はとげを取る。  とげは 1 回につき 1 個しか取れない。  ※恐竜はとげを取ることはできない。  2. 全部とげを取られてしまったら恐竜はオリの中にいく。  とったとげはオリの中にいる恐竜につけて復活させてよい。  とげ6個つけ直したら復活できる。  3. 2 分半を 2 回戦行い、2回戦目は役を割変える。 </p>							

活動内容報告

活動  
内容  
報告

4. 恐竜についているとげ 20p、奪ったとげ 5p 復活できなかつた恐竜のとげは無効になる。 ※途中で落ちているとげは拾つてもいい。 5. ポーナスタイムでししまい恐竜 2 体(鳴村、朽木)登場する。 ビッグ恐竜の白いとげ 1p、金のとげ 100p 20 秒間取り放題 6. 敵の背中についているとげをとつて、いちばん多くとげをとつた班の勝ち。
<b>禁止事項</b>
・恐竜と守る人が他の恐竜のとげを取ること ・1 回につき 2 個以上とげを取ること ・盾などで人に危害を与えること レク③「おふくろは大切に、かんにんぶくろは慎重に！こぼすなカンガルーリレー」 (MC:朽木、鳴村 音響:上原、門倉 タイムキーパー:関根) 1. 各班 2 人組をつくり、赤ちゃんカンガルー 1 匹と卵 10 個がのつたふろしきをもらう。 2. 1ペアずつ両足ジャンプしながら一往復する。 ※足りないところは2回やつてもらう。 3. 往復したあとにふろしきを班員の頭の上に通らせて、次の人の前に置いたらバトンタッチする。 4. ふろしきに乗っている赤ちゃんカンガルーを落とさないように運び、落としたら必ず拾う。 ※卵は拾つてはいけない 5. 2 回戦行い、卵が多く残つた順位といちばん早くゴールした順位の 2 つ出す。
<b>禁止事項</b>
・往復中にジャンプしないこと ・落ちた赤ちゃんカンガルーを拾わないこと ・落ちた卵を拾うこと 締めレク「一発逆転？！王の座を取るのは誰だ！キッキングタワー」 (MC:門倉、鳴村 音響:関根、上原 タイムキーパー:朽木) 1. これまでの点数発表をする。 2. 1 人 1 回ずつボールを蹴つて各班のタワーを倒す。 3. 倒した分点数に加算される。 相手のタワーを倒したらそのまま相手に点数が入る。 4. いちばん点数が高かつた班に王冠を渡す。
<b>禁止事項</b>
・1 人 2 回以上蹴ること ・他の人が蹴るのを妨害すること バスレク 「シルエットのみで当てる！？古今東西都道府県ゲーム！！」 都道府県のシルエットが書かれた紙を見せて、シルエットだけで都道府県を当てる。 「信じるのは己の耳のみ！全集中せよ！イントロドンでびっきゃんボーン！！」
<b>【2日目昼】</b> テーマ:ゲーム 場所:体育館 <b>【大レク】</b> 1.『マス目鬼』 MC:浦川・木村 TK:畠山 音響:内藤 助人:10人 <b>【内容】</b> ①10×10のマスを床に設置する そのマス内で鬼ごっこを行つ (鬼とマスが被つたらアウト)→(被つたらその班と交換) ②どの班も同じ人数になるように3つのグループに分ける。 ③各班の3グループのうち1グループを鬼にする 役割→鬼・逃げ 移動方法→MC が笛を鳴らしたら、みんなでせーので縦・横・斜め一マス移動する。 ④鬼だけは、移動の際にその場ジャンプをしてもいい。 ⑤3チーム被つたらじゃんけんで役割交代 <b>【勝敗】</b> ・元の班に戻つたときに、何人逃げ役の人が残つてゐるか 例 20 回鳴らし終わつたときに最後に生き残つてたチームが勝ち

活動内容報告

**【禁止事項】**  
・マス移動をしないのはダメ！  
2.『みんなで力を合わせろ！テトテト・リスリス』  
MC:畠山  
TK:木村  
音響:内藤  
助人:10人  
**【内容】**  
①各班に模造紙を配布する。  
②そこら中に切った模造紙をばらまいておく。  
③役割を決めてもらう。  
④制限時間以内に、ブロックを取りに行く  
(何個でも問題なし)  
⑤制限時間以内に、取ってきたブロックを使用してレベルごとの文字を作る。  
⑥どこのマスを使って文字を作ってもいい  
(マス内に収まっていれば、二つ作っても問題なし)  
⑦文字が完成したら、近くにいる委員に視線を向けて『できました!!』と声をかける  
⑧委員がOKサインを出したら作れた文字のポイントが入る。  
⑨文字は作り切れないとポイントははいらない。  
(中途半端に作ってもポイントは入らない)  
**【役割】**  
・1戦目  
文字を作る係×4 文字を取りに行く係×6  
・2戦目  
各自で決めてもらう。  
**【Lv.】**  
1戦目  
Lv.1 指定した完成形のブロック(2pt)  
Lv.2 オセロ・コマ(4pt)  
Lv.3 カルタ・ゲーム(6pt)  
Lv.50 ハナフダ・タケウマ(8pt)  
2戦目  
Lv.1 指定した完成形のブロック(2pt)  
Lv. ? カード・レース(4pt)  
Lv. ? スポーツ・アクション(6pt)  
Lv. ? 大合宿(8pt)  
Lv. ? BIG CAMP・浅井(10pt)  
Lv. ? ~~■~~(100pt)  
**【時間制限】**  
1戦目 ブロックを取りに行く(1分) 文字を作る(3分)  
2戦目 ブロックを取りに行く(30秒) 文字を作る(2分)  
**【禁止事項】**  
・同じ文字を同時に使うこと  
例・コマ、コマ(これはポイント無効)  
・マス内にブロックを收めないのは禁止  
3.『班対抗スピード』  
MC:内藤・畠山  
TK:木村  
音響:山上  
助人:10人  
**【内容】**  
①助人がせいので真ん中にあるトランプ5枚を表にする。  
②5枚のカードにどこにでもカードを置ける  
③カードを運ぶときは2人で背合わせしながらしなければならない。  
④カードが置かれるたびに、MC がそのカードを言う。  
⑤はやく持ち札や手札をなくした班の勝ち。  
⑥2回戦同じことを行う  
4.『トントン・トンキーリレー』  
MC:山上・小川 TK:木村  
音響:内藤 助人:10人  
**【構成】**  
・10班×10人～12人構成

<p>【内容】 ①4ゾーン形式 1.そりゾーン…1走者目から始める→2走者目と3走者目人がそり押す。 (押す人の乗る人で交互に分かれる) 2.樽ゾーン…樽を置いて、それを飛び越えてもらう。 3.バナナ取りゾーン…助人がバナナを吊るしているのでそれを取る。 (とったバナナは委員が持ってるバナナボックスに入れないと次のゾーンに進めない) 4.海ゾーン…ブルーシートを置いて、そこで靴を脱いで泳いでもらう。 ②各班、走者を決める。 ③早くゴールできたほうが勝ち。 【禁止事項】 ・ゾーンの内容をこなさずに走るのはダメ</p> <p>【水企画】 1.今年の夏まーじであちち、頭の皿カッピカピ干からびた からみんなで潤しちゃいましょう HERE WE GO PONPONPON 『MC:畠山・小川 TK:木村 音響:内藤 助人:全員』 ①各班の人達にお皿を配布する。 1回戦目 自分の持っているお皿を濡らさないように立ち回る。その際妨害として相手の水をかける のは問題なし。 2回戦目 たくさんうごいているので、ひたすらいろんな人に水をかける。 【禁止事項】 ・相手に水をかけないのはダメ 2.学年対抗！濡らさないとあかん day ! 『MC:畠山・小川 TK:木村 音響:内藤 助人:全員』 ①学年ごとにわける。 (あきらかに少ない学年のチームは他の学年のひとが抜かれる。) ②お互いの持っている、ペットボトルを使う。 ③どれだけ MC の目にとり目立って相手を濡らせたか。MC が主観で、どの学年が目立てて相手を濡らせたかで勝ち負けを決める。 【禁止事項】 相手に怪我を負わすのはだめ</p> <p>【2日目夜】 場所:体育館 【テーマ】お祭り 出会い(MC 星、関口 タイムキーパー 孟 音響蔵田) 助っ人 10 人 今日は夏祭りの最終日。気になるあの子とお祭り 2 人で回りたい！そう思ったあなたは勇気をだして DM しました。 「○○(店名)の○○(商品名)と一緒に食べよう」とやり取りがある DM の画面の手作りスマホを女子と男子に配る女の子は店が決まった状態でのメニューを食べるかくじで決める 男の子も店は決まっていて、その店に行き集まった男の子で相談しそれぞれを頼むか決める(他の人とかぶってはいけない) 「○○1つ！」と男の子は言う。自分の料理名を言わされた女の子はその子の後ろにたちみんなで一齊に「おまたせ！！！」といつてペア成立 「金魚君すくい」(MC 星、野村 タイムキーパー孟 音響関口) 助っ人 10 人 2025 年 8 月 26 日星 野村 関口 蔵田 孟 ①出会いの屋台ごとに円をスズランテープで作って集まり、その屋台の店主の筋肉さんが投げる金魚くんをキャッチする(筋肉さん以外の人は円に入ってはいけない) ②二つの持ち手がついたポイのようなもの(薄い半紙で箱を作る)を二人で外側の手で持ち金魚くんをキャッチする ③屋台ごとにそれぞれで「たまやー」と叫び多かったペアにはでかポイが与えられレクで使うことが出来る ④音楽が流れてる間、円の周りをグルグル回る ⑤笛がなると筋肉さんが投げ、1 回ごとに 4 方向にねげるようになる ⑥音楽が止まりソーラン節の音楽が流れたらポイをその場に置き全力でソーラン節を踊る ⑦音楽が止まり盆踊りの曲が流れたら盆踊りしながら隣の屋台にみんなでまとめて移動をする</p>
---

- ⑧ 基本的には⑤がメインになり、⑥と⑦を何回か入れる
- ⑨ 最後に筋肉くんが四方八方に投げるフィーバータイムがある
- ⑩ 一番多く集められたペアが勝ち(玉入れみたいにみんなで一気に数える)
- ⑪ ポイが破れたら真ん中にいる委員とじょんけん『ポイ』してあっち向いて『ポイ』かてたら新しいポイを獲得することが出来る。ただし、それまでにとった金魚くんは半分になる。
- ⑫ 1番多く金魚くんを取ったペアの勝ち  
→胸キュンドラマに参加してもらう

## 禁止事項

2025年8月26日星 野村 関口 蔵田 孟

・金魚君を他のペアから奪うこと

・一人でポイを持つこと

「きばってこーぜたこやきキャッチ」(MC 蔵田、孟 タイムキーパー星 音響関口)

助っ人 10人

① ペアでたこ焼きを転がす人とキャッチする人に分かれる。2回戦を行うためそこで役割を交代する

② 舟を体育館に散りばめておいてスタートの合図で取りに行く

③ 10か所に人数が均等になるように分かれる

④ 坂にたこ焼きを転がし浮かせたたこ焼きボールを空中で舟を使いキャッチする(坂の幅を広くしボウリングのような匂いをつけるようにする)

⑤ 1ターンで転がせるのは1回であり、どんなミスも1回とする

⑥ たこ焼きは体育館の壁側を神輿(2~3個)で運ばれているため、1回投げることに新しいたこ焼きをペア2人で取りに行かなければならない

⑦ 移動する際は二人で一緒にたこ焼きの舟を持って移動する

⑧ 舟でキャッチしたたこ焼きはそのまま舟の上にのせたままで他のたこ焼きもキャッチしていく

⑨ 初めに1ペアに1個たこ焼きを配ってからスタートする

⑩ 落ちたたこ焼きは、味に応じた色ごとに体育館の四隅に置いてあるゴミ箱に分別して捨てるようにする

⑪ 時間を決めて一番多くのたこ焼きをキャッチできたペアの勝ち→胸キュンドラマ参加決定

2025年8月26日星 野村 関口 蔵田 孟

## 禁止事項

・手を使いたこ焼きキャッチすること

・一人で舟を持って移動すること

・ゴミ箱にたこ焼きを投げていれること

## ダンス

オクラホマキサー(MC 関口、孟 タイムキーパー野村 音響蔵田)

マイムマイム(MC 蔵田、野村 タイムキーパー関口 音響星)

Love me, Love you(Mrs. GREEN APPLE) (MC 星、蔵田 タイムキーパー関口 音響野村)

## 【3日目】

## 【テーマ】家族

——みなさん1日目2日目とチームワークもできた頃だと思います。そんな皆さんはもう家族と言つても過言ではないでしょう——

## 【班の名前決め】(mc 伊知地、TK 川上、音響大原、助っ人無し)

班に一つ苗字を決め、班の名前は〇〇家とする

1本のマジックを10ポンの糸でぐくり、各方向に引っ張りながらみんなで協力して班の名前を書く

## 「おじいちゃん育毛」説明

① 全体で髪の毛を報酬として集める

② 髮の毛をあつめておじいちゃんのかツラをつくる。

(毛糸で大中小の束を作つておき、それぞれのレクで順位別で髪の毛を報酬として獲得できる。)

## 説明

① 最初に毎レク事に髪の毛が配されることを説明する。

② 1レクごとに貰える髪の毛の量が増えていき、1位から3位は何束か決めて、4位以下は束ではなく本数で渡す。

③ 最終的に貰えた髪の毛の量が少なければハゲのカツラが出来、多ければ、アフロ並みの毛量になる。

④ カツラの土台を作つておいて各レクの結果発表の時に貰った髪の毛を貼つていく

⑤ 家族リレーの前に結果発表して、できたカツラをくじで決めたおじいちゃん役がリレーで被る

<p>【レク】 「親子でキャッチボールならぬキャッチハット」(mc 伊知地・泉、TK 小林、音響川上、助 っ人 5 人) ① 大きい帽子をフリスビーのように投げる ② 何回落としてもいい ③ 1 列に並んで帽子をどんどん頭でキャッチしていく ④ 前回早く終わってしまったため端までいったら U ターンして最初に投げた人が最後に キャッチする。 ⑤ 実演する際コツを伝授する ⑥ 早く班員全員が帽子をキャッチ出来たかで競う ⑦ 1 番最後に帽子を受け止めるひとがキャッチできたときに手を挙げてもらう ⑧ 首から上の頭に乗つたら成功とする ⑨ ゲームを始める前に練習の時間をとる (ぼうしは、針金が危ないので厚紙土台のフェルとにする)</p> <p>【禁止事項】 帽子をキャッチする人は手を使ってはいけない 「パイプが壊れた！家族で力を合わせて水道をとおそう！」 (mc 川上・泉・大原・小林、TK・音響伊知地、助っ人 10 人) ① 列の順番を決め、パイプを 10 当分してピンpong玉をパイプを繋げながら各班のゴール の所まで協力プレイで運ぶ ② ピンpong玉を落としたら罰ゲームがあるかも(罰ゲームボックス) ・1 回戦目、目隠し無いで速さを競う ・2 回戦目、目隠し 2 人して協力して競う ③ 開始前に 30 秒時間を取り目隠しはじめんけんなどで決め、順番もこの時間に決める ④ 土管がゴールとなる ⑤ 中には曲がったパイプもあるため列がくねくねする ⑥ 先にゴールの土管にピンpong玉を入れた班から順位が決まる</p> <p>【禁止事項】 目隠しをとってはいけない 列の順番を変えること スタート地点から離れたところからスタートすること 「使ったおもちゃは片付けて！カタカタカタカタキャタピラ合戦！」 (mc 伊知地・小林、TK 泉、音響大原、助っ人 10 人) ① 班に 1 つ 1 人用のキャタピラを配って散らばってるおもちゃをキャタピラに乗る人があつ めていく ② 全ての役割を交代しながら進める ③ キャタピラに乗る人は陣地に帰ってきたら次の人に交代していく ④ (キャタピラは 1 人用と二人用が 1 つづつ)(キャタピラが取っていいおもちゃの数:10 個) ⑤ 虫取り網さん(5 個まで) ⑥ あめんぼさん(あめんぼの手をつけてあめんぼのように移動しながらおもちゃを取って いく) ⑦ 陣地にいる人がキャタピラの人が持ってきたおもちゃをピラミッド状に積み上げてい く ⑧ 集めたおもちゃを陣地にいる待機者が崩れないように積み上げていく ⑨ (おもちゃは陣地の中に入っていてもタワーに積み重なっていなかつたら点数にはならな い、制限時間内に積み上がっていったおもちゃの高さで順位がつく) ⑩ 特殊おもちゃ ・+ 5(そのおもちゃがとれたら委員に持っていくと追加で 5 個のおもちゃを獲得できる) ・他の班を攻撃玉でおもちゃタワーを攻撃できる(攻撃の際は陣地の輪の外から) ・他の班を風船鉄砲で攻撃できる(攻撃の際は陣地の輪の外から) (攻撃する人はキャタピラの人以外で。) ⑪ 班に 1 つ防御アイテム(盾)がありそのアイテムでのみ攻撃玉や風船鉄砲からの攻撃を防げ る ⑫ 制限時間 3 分、2 回戦形式</p> <p>【禁止事項】 ・他の班のタワーをボール以外で攻撃すること ・役割の交代をしないこと ・他の班の陣地に入ること</p>
--

**【締めレク】**  
「家族リレー」(MC 伊知地・大原、TK 小林、音響川上、助っ人 10 人)  
① クジで家族の役を決めてもらい、衣装を着る  
② 父→弟→双子→おじいちゃん→おばあちゃん→お姉ちゃん→赤ちゃん→母→ご先祖さまの順にリレーをする  
③ リレーの中間地点にミッションコーナーがあり、そこで助っ人がいるところまでミッションをして、バトンパスする  
④ アンカーがゴールまで来たら、最後に半全員ででんしゃごっこ紐をみんなでもちながら一周する  
⑤ (バトン)  
⑥ 最後のでんしゃごっこ紐を 3 重にしてタスキにする  
(ルールや役割の内容を書いた紙を配る。更に助っ人を使い実演しながら説明する。)  
⑦ ゴールした順番に勝敗が決まる  
(役割)  
母:卵が乗ったレンゲを落とさないようにもつっていく  
おじいちゃん:くわをもつて耕す  
おばあちゃん:お盆にコップを乗せてバランスをとりながら持つていく  
父:ちゃぶ台をもつていく  
お姉ちゃん:福笑い  
弟:宿題を解いて持つていく  
双子:デカズボンを 2 人ではいて、二人三脚をする。  
赤ちゃん:オムツをつける  
ご先祖さま:白い三角巾つける、石を背負つていく  
禁止事項  
役割と違うことをすること  
役割をしないこと  
他の走者とぶつかったりする

**【1日目】**

高坂駅出発	7:00
施設到着	9:00
1日目レク	9:10
野外炊事	11:40
入園式	14:20
1日目レク	14:50
ダンス練習	15:15
2夜レク	17:00
夕食	18:00
キャンプファイヤー	19:10
入浴準備	20:15
入浴	20:30
部屋帰宅	21:10
会議	21:25
就寝準備	21:50
就寝	22:00

**【2日目】**

起床	6:30
朝食	7:00
朝食終了	8:00
2昼レク	8:10
終了	9:40
水企画	9:50
終了	10:40
着替え	10:50
終了	11:20
野外炊事	11:30
終了	14:00
3日目レク	14:10
終了	16:40
施設出発	17:00
高坂駅到着	19:00

成果	<p>・大合宿に向けて、施設に行かなければ分からぬ、移動の時間や野外炊事やキャンプファイヤー、水企画のリハーサルとして、とても意義のあるものであった。・必要な持ち物や備品、所要時間など多方面で大合宿に向けての最終確認を行うことができた。・宿泊での大合宿を経験していない1年生に具体的な経験やイメージを持たせることができた。・本番と同じ体育館でレクリエーションを行うことで、より実践に近い形でのMCや裏方の動きを確認することができた。</p>
反省点・改善点	<p>・タイムスケジュールが過密なものでありながら、1泊2日で本番の2泊3日で本番のリハーサルをしなければいけない状況であったため、余裕をもった活動が難しかった。タイムスケジュールの見直しが必要だと考える。・予想以上の暑さで、当初考えていた暑さ対策だけでは不十分だと分かり、ジャグや送風機の設置に加えて、給水所の設置や、他の対策も必要だった。</p>

貴団体の申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会運営委員会委員長

印

# 2025 年度 教育学会後援団体決算報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 12 月 26 日

申請者 中澤優 印

団体名	教育学会後援団体 大合宿			
団体責任者	学籍番号	23114034	役職名	代表
	氏名	浅井俊亮		
団体副責任者	学籍番号	23114122	役職名	副代表
	氏名	小熊琉聖		
会計責任者	学籍番号	23114108	役職名	副代表
	氏名	榎本穂乃香		
	学籍番号	23114004	役職名	会計
	氏名	中澤優		

補助金使用用途及び申請額

活動内容 【 大合宿 】

項目	詳細	今年度予算	今年度決算	増減	執行率
大合宿	野外炊飯用品費支出 ・ペーパー110円×11=1210円 ・ダスター110円×11=1210円 ・スポンジ110円×3=330円 ・割りばし110円×4=440円 ・紙コップ110円×10=1100円 ・洗剤110円×2=220円 ・ハンドソープ110円×3=330円 ・クレンザー110円×5=550円 ・ステンレスたわし110円×0=0円 ・紙皿110円×2=220円 ・袋5円×1=5円	9,240	5,615	3,625	61%
	搬送車両費支出 ・緊急車両ガソリン代(往復)1874円×1=1874円 ・緊急車両レンタル代35860円×1=35860円 ・緊急車両有料道路代(往復)4010円×1=4010円 ・打合せ車両レンタル代8910円×1=891円 ・打合せ車両ガソリン代(往復)1246円×1=1246円 ・打合せ車両有料道路代(往復)3620円×1=3620円	100,600	55,520	45,080	55%
	書日交通費支出			0	#DIV/0!
	事業主貸 ・キャンプファイヤー 8000円×1=8000円 ・野外炊事調理セット ・野外炊事薪代 440円×25=11000円	21,000	19,000	2,000	90%
	予備費			0	#DIV/0!
大合宿支出合計		130,840	80,135	50,705	61%

項目	詳細	今年度予算	今年度決算	増減	執行率
実地踏査	野外炊飯用品費支出 ・ペーパー110円×1=110円 ・ダスター110円×1=110円 ・スポンジ110円×1=110円 ・割りばし110円×1=110円 ・紙コップ110円×1=110円 ・洗剤110円×1=110円 ・ハンドソープ110円×1=110円 ・クレンザー110円×1=110円 ・ステンレスたわし110円×1=110円 ・紙皿110円×1=110円	1,100	1,100	0	100%
	搬送車両費支出 ・緊急車両ガソリン代(往復)1390円×1=1390円 ・緊急車両レンタル代24090円×1=24090円 ・緊急車両有料道路代(往復)4720円×1=4720円	55,300	30,200	25,100	55%
	旅費交通費支出 ・バス代72,000円×2=144,000円 ・バス有料道路代11,170円×2=22,340円 ・バス消費税7,200円×2=14,400円 ・運転手宿泊費0円 ・運転手食事代0円	196,440	180,740	15,700	92%
	事業主貸 ・キャンプファイヤー代8,000円×1=8,000円 ・野外炊事調理セット0円 ・野外炊事薪代440円×7=3080円	7,200	11,080	3880	154%
	予備費			0	
	実地踏査支出合計	260,040	223,120	36,920	86%
年間支出	消耗品費支出 ・文房具代59,464円 ・医療費0円	26,500	59,464	32,964	224%
	制作物費支出 ・(1日目、2星、2夜、3日目、開閉会式、通し)52,936円 ・キャンプファイヤーシミュレーション代 3,000円	90,000	55,936	34,064	62%
	印刷製本費支出			0	
	予備費			0	
年間支出合計		116,500	115,400	1,100	99%
後援助成金決済総額		507,380	418,655	88,725	1

大合宿総費用

項目		詳細	単価	個数	合計
収入の部	参加費収入	大合宿参加費	12,000	115	1,380,000
	繰り越し金		12,363	1	12,363
			収入の部合計		1,392,363

項目		詳細	単価	個数	合計
支出の部	旅費交通費支出	バス往復	542,220	1	542,220
	施設借用費支出	宿泊費、食事代	803,850	1	803,850
	制作物費支出	うちわ	94	200	18,770
	保険		295	114	33,630
				支出の部合計	1,398,470

	大合宿総費用決算収支合計	<b>-6,107</b>
--	--------------	---------------

貴団体の申請を受理しました。

年       月       日

教育学会運営委員会委員長

印

# 2025 年度 教育学会後援団体活動報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 12 月 25 日

申請者 村岡佑磨 印

団体名	教育学会後援団体 球技			
団体責任者	学籍番号	23114027	役職名	代表
	氏名	村岡 佑磨		
副責任者	学籍番号	23114007	役職名	副代表
	氏名	松浦 玲希		
会計責任者	学籍番号	23114032	役職名	会計
	氏名	坂本 海斗		
	学籍番号	23114042	役職名	会計
	氏名	元木 千乃		
	団体構成	4年生 0 名	3年生 9 名	2年生 10 名
	1年生 10 名	合計 29 名		

## 活動内容 【 球技 】

実施日	秋季大会: 2025年9月21日 冬季大会: 2025年12月14日	実施場所	秋季大会: 大東文化大学緑山キャンパス 冬季大会: 大東文化大学総合体育館
会議期間	2025 年 1 月 20 日 ~ 2025 年 12 月 15 日 ( 28 回実施 )		
参加人数(秋)	4年生 34 名	3年生 26 名	2年生 23 名
参加人数(冬)	1年生 19 名	合計 102 名	4年生 32 名
参加人数(冬)	3年生 31 名	2年生 23 名	1年生 27 名
合計 113 名			
活動内容報告	○活動内容 ・球技大会の種目、日程、開催場所を決める。 ・どんな人でも、球技大会を他の惜しむことが出来るような種目のルール作りをする。 ・ルール作りのために、種目ごとにシミュレーションを重ね、会議にてシミュレーションによって出た反省点、改善点を討論する。 ・昨年度の球技大会の反省をもとに、当日の球技大会の流れや委員の動きを確認する。 ・企画の立案、当日の運営を行う。		
	○種目と企画 <秋季大会> 種目: サッカー 企画: 実際に講師をお招きし、パス練習やミニゲームなどを用いてサッカーの基礎となる動きを学んだ。		
	○当日の活動の流れ <秋季大会> 9:30 開会式 12:00 サッカー 16:00 閉会式 17:00 完全撤収		

活動内容報告	<p>○活動内容        ・球技大会の種目、日程、開催場所を決める。        ・どんな人でも、球技大会を他の惜しむことが出来るような種目のルール作りをする。        ・ルール作りのために、種目ごとにシミュレーションを重ね、会議にてシミュレーションによって出た反省点、改善点を討論する。        ・昨年度の球技大会の反省をもとに、当日の球技大会の流れや委員の動きを確認する。        ・企画の立案、当日の運営を行う。</p> <p>○種目と企画        &lt;冬季大会&gt;        種目:アルティメット        企画:①障害物リレー(学年ごとでチーム。各障害物に得点をつけ、2人1組になり、アルティメットで使用するディスクを使い障害物を倒す)        ②6対6の実践的なミニゲーム(各学年ごとでチーム。本番のアルティメットに慣れてほしいため、体育館1/4を使い、6対6の実践的なミニゲームを行う。)</p> <p>○当日の流れ        &lt;冬季大会の&gt;        9:30 開会式        12:00 アルティメット        16:00 閉会式        17:00 完全撤収</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日は決められたタイムスケジュール通り円滑に進めることができた。</li> <li>・大会当日を想定しながら種目の審判と委員の立ち回りをシミュレーションで練習したことや球技大会を想定した通しを2回に増やしたことによって、當日に円滑な大会運営を行うことができた。</li> <li>・</li> <li>・委員が怪我人0という目標を掲げ、行動したり、声掛けをしていたので、無事参加者の中から1人も大きな怪我なく終えることができた。</li> </ul>
反省点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋大会の諸連絡不足(ゴミ箱の場所、使っていい部屋、出入り禁止の場所、試合の〇分前に集まってください、保健室の説明)を伝えそびれてしまい、混乱を招いてしまった。来年度以降、開会式の時間で諸連絡の時間を設け、少しでも参加者の混乱を招かないようにする。</li> <li>・講師を実際に呼ぶことになったことで、なかなか連絡がつかず当日ギリギリまで予定が不明確になってしまった。講師はいつ頃までに内容を決めるかを事前に決めておいて、こまめに連絡をして確認する。</li> <li>・去年の反省として、秋季大会の雨天時の種目を決め、梅雨の時期の早い段階でシミュレーションを行ったが、本番近くになり、委員の中で、雨天時の種目の審判の仕方、ルールを忘れる人が出てきた。梅雨の時期だけでなく、球技大会近くにも雨天時の種目のシミュレーションができるように年間スケジュールを組む。</li> <li>・卒業論文提出期限に近い時期の開催だったこともあり、終わらないという理由で来れない4年生が出てきてしまった。可能であれば、事前に締切日を確認しておいて日にちを確定させる。</li> </ul>

貴団体の申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会運営委員会委員長

印

# 2025 年度 教育学会後援団体決算報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 12 月 25 日

坂本海斗 印

申請者

元木千乃 印

団体名	教育学会後援団体 球技			
団体責任者	学籍番号	23114027	役職名	代表
	氏名	村岡佑磨		
副責任者	学籍番号	23114007	役職名	副代表
	氏名	松浦玲希		
会計責任者	学籍番号	23114032	役職名	会計
	氏名	坂本海斗		
	学籍番号	23114042	役職名	会計
氏名	元木千乃			印
後援助成金決算額	69,857 円			

## 補助金使用用途及び申請額

活動内容 【  】

項目	詳細	今年度予算	今年度決算	増減	執行率
秋大会	用品費支出	0	0	0	#DIV/0!
	接待交際費支出	講師謝礼代	20,000	5,778	14,222
	搬送車両費支出	レンタル代、ガソリン代	30,000	21,497	8,503
	事業主貸	東松山市民体育館借用代、	12,000	0	12,000
秋大会支出合計		62,000	27,275	34,725	44%
冬大会	用品費支出	アルティメットディスク代	11,440	11,440	0
	接待交際費支出		0	0	0
	搬送車両費支出	レンタル代、ガソリン代	30,000	19,455	10,545
	事業主貸	東松山市民体育館借用代、	12,000	0	12,000
冬大会支出合計		53,440	30,895	22,545	58%
年間支出	消耗品費支出	色ペシ、養生テープ、布テープ、 参加者景品代	12,000	11,687	313
	接待交際費支出		0	0	0
	搬送車両費支出		0	0	0
	印刷製本費支出	参加者しおり/委員用ルールプリント	4,000	0	4,000
	予備費	その他緊急時の費用	10,000	0	10,000
年間支出合計		26,000	11,687	14,313	45%
後援助成金決済総額		141,440	69,857	114,540	49%

貴団体の申請を受理しました。

   年    月    日

教育学会運営委員会委員長

印

# 2025 年度 教育学会後援団体活動報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 12 月 25 日

申請者 酒井 祥大 印

団体名	教育学会後援団体 コンサート(ミュージック&ダンス)		
団体責任者	学籍番号	23114113	役職名 代表
	氏名	酒井 祥大	印
副責任者	学籍番号	23114069	役職名 副代表
	氏名	莊司 真	印
	学籍番号	22114020	役職名 副代表
	氏名	田野 五星	印
会計責任者	学籍番号	23114001	役職名 会計
	氏名	福島 権志	印
団体構成	4年生 5 名	3年生 19 名	2年生 13 名
	1年生 11 名	合計 48 名	

## 活動内容 【19回教育学科コンサート】

実施日	2025年11月15日(土)		実施場所	東松山キャンパス60周年記念講堂		
会議期間	2025年 年 4 月 1 日 ~ 2026 年 3 月 31 日 ( 18 回実施 )					
参加人数	4年生 41 名			3年生 29 名	2年生 29 名	1年生 88 名 合計 187 名
・本番の円滑な進行に向けた定例会議の実施(週1回) ・コンサート本番の企画・運営 ・開催に向けた全体周知 ・機材搬入や設備設置、会場装飾などの本番に向けた準備、会場設営 ・各団体や参加者との連携、打ち合わせ ・委員連携を深めることを目的とした夏合宿、冬合宿の実施 ・共催実行委員会を通して教員との連携及び質の向上を図った ・横看板の作成 ・新入生の委員参加を目的としたオリエンテーション合宿への参加及び勧誘 ・委員連携を深めることを目的とした、コンサートTシャツの作成						
活動内容報告						

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明や音響機材などを有効的に活用し、より質の高いコンサートを開催することが出来た。</li> <li>・一年生の加入により、委員人数が昨年よりも増え、委員同士でのやり取り、活動効率が向上した。また、人数を活かし横看板の装飾や会場の装飾物に時間を費やし、より高いクオリティーの作品を作りこに成功した。</li> <li>・2回実施した合宿や、横看板作成を通して、委員間でのコミュニケーションが増え、学年を超えたつながりを深めることが出来た。</li> <li>・新たに導入した講評を活用し、発表を見て終わりではなく一つずつの発表団体ごとの発表を尊重して、肯定的に捉えることが出来た。</li> </ul>
反省点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年行っている本番に向けたテーマ決めが中々決まらず、それに伴い他の作業にも遅れが生じた。円滑なテーマ決めのために、新入生勧誘と並行して会議を行なって行きたい。また、テーマに対する意味合いをはつきりと明確にさせながら話し合いをもとにテーマを決めていきたい。</li> <li>・委員からの周知が少なく、発表団体の音源の提出やリハーサル日程の提出に遅れが生じた。告知回数を増やし、双方の認識の共有を図る。</li> <li>・コンサート当日のタイムスケジュールの見積もりが甘く、1時間程度予定よりも遅れてしまった。各団体の発表時間の把握をより徹底し、正確なタイムスケジュールを作成していく。</li> </ul>

貴団体の申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会運営委員会委員長

印

# 2025 年度 教育学会後援団体決算報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 12 月 25 日

申請者 福島 権志 印

団体名	教育学会後援団体 コンサート(ミュージック&ダンス)		
団体責任者	学籍番号	23114113	役職名 代表
	氏名	酒井 祥大	印
副責任者	学籍番号	23114069	役職名 副代表
	氏名	莊司 真	印
会計責任者	学籍番号	22114020	役職名 副代表
	氏名	田野 五星	印
後援助成金決算額	111,207	円	

補助金使用用途及び申請額

項目	詳細	今年度予算	今年度決算	増減	執行率
消耗品支出	銀テープ 養生テープ 紙ガムテープ 画用紙、模造紙、色画用紙 ビニールテープ クリアファイル 油性マーカー	6,330 7,420 276 7,994 330 696 2,200	28,200	25,246	2,954 90%
用品支出	カラーフィルム ピンマイクレンタル	6,952 0	42,000	6,952	35,048 17%
企画費	なし	0	0	0	#DIV/0!
制作物費	オープニングアクトの小道具等	0	5,000	0	5,000 0%
印刷製本費	プログラムのコピー代 ポスターの印刷代	1,840 250	2,500	2,090	410 84%
接待交際費	花束代	6,000	6,000	0	100%
横看板制作費	絵具 用紙 水張りテープ クリアコップ	16,500 4,224 528 163	23,200	21,415	1,785 92%
映像関係制作費	映像編集代 メモリーカード	20,165 5,544	60,000	25,709	34,291 43%
搬送車両費	レンタカー代 ガソリン代	9,020 400	15,000	9,420	5,580 63%
企画補助費	2ae 2cf 3ad 3be 3cf 4ab 4ce	1,760 990 770 878 990 1,540 2,414	37,500	9,342	28,158 25%
予備費	ダンボール 接着剤 半紙 シール のり ブルーシート	1,192 2,375 660 110 498 198	10,000	5,033	4,967 50%
後援助成金決済総額		229,400	111,207	118,193	0

貴団体の申請を受理しました。

[年] [月] [日]

教育学会運営委員会委員長

印

# 2025 年度 教育学会後援団体活動報告書

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 12 月 26 日

申請者 田野 五星 印

団体名	教育学科共催行事実行委員会			
団体責任者	学籍番号	22114020	役職名	委員長
	氏名	田野 五星		
副責任者	学籍番号	22114107	役職名	副委員長
	氏名	遠矢 春乃		
団体構成	4年生 5 名	3年生 21 名	2年生 [REDACTED] 名	1年生 [REDACTED] 名 合計 若干 名

## 活動内容 【 会議 】

実施日	[REDACTED]	実施場所	板橋キャンパス 研究スペース
会議期間	2025 年 2 月 10 日 ~ 2025 年 12 月 1 日 ( 9 回実施 )		
参加人数	4年生 5 名	3年生 21 名	2年生 [REDACTED] 名 希望者のみ
活動内容報告	<ul style="list-style-type: none"><li>・コンサート、共催の年間予定作成</li><li>・コンサート本番日時の決定</li><li>・コンサートのテーマとサブタイトル決定</li><li>・本番におけるクラス分けの決定</li><li>・コンサートテーマ、サブタイトルの精査</li><li>・講評基準、方法についての検討</li><li>・コメントーターの依頼</li><li>・発表内容について</li><li>・当日の映像撮影について</li><li>・コンサートの反省の共有</li></ul>		

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審査委員制度から講評という形に変えた。それにより、評価が目的化することを防ぎ、次の表現や学びへつながるフィードバックを重視する場となった。</li> <li>・講評制度により、純粧に作品を楽しむことができるようになった。</li> <li>・新たにピンマイクの使用が可能になった。</li> <li>・4年生が教育実習の際も3年生が中心となって進行し、スムーズに行うことができた。</li> </ul>
反省点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審査委員制度から講評という形に変えた。それにより、評価が目的化することを防ぎ、次の表現や学びへつながるフィードバックを重視する場となった。</li> <li>・講評制度により、純粧に作品を楽しむことができるようになった。</li> <li>・新たにピンマイクの使用が可能になった。</li> <li>・4年生が教育実習の際も3年生が中心となって進行し、スムーズに行うことができた。</li> </ul>

貴団体の申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会運営委員会委員長

印

学生・教員連絡会(冬) 第【 2 】号議案  
 申請日 2026 年 2 月 20 日  
 申請者 渡邊 伶歩

## 2025年度 教育学会運営委員会活動計画(案)

団体名	教育学会運営委員会		
委員長	学籍番号	24114130	
	氏名	渡邊 伶歩	
副委員長	学籍番号	24114094	
	氏名	大塚 美穂	
	学籍番号	25114065	
	氏名	小峰 歩乃佳	
書記	学籍番号	24114025	
	氏名	伊藤 沙菜	
	学籍番号	25114094	
	氏名	三ツ木 翔子	
会計	学籍番号	24114045	
	氏名	藤尾 陸翔	
	学籍番号	25114059	
	氏名	上野 星奈	

以上、教育学会則第5章第24条に定める常任役員7名

構成員	4年生(参考)		3年生		2年生			
	4A	浅野 緋吹	3A	東條 聖	2A	久留島 澄央	2E	関根 悠莉
	4A	倉持 蓮	3A	高野 鳩平	2B	外館 和	2E	則近 至雄
	4B	北岡 大樹	3B	矢治 多紀音	2B	大館 優奈	2E	林 子韜
	4C	猪飼 大佳	3C	佐藤 早矢翔	2B	森川 夏帆	2F	笠原 幹太
	4C	遠藤 雅也	3D	伊藤 沙菜	2B	永治 優菜		
	4D	近藤 亜岐	3D	藤尾 陸翔	2B	三ツ木 翔子		
	4D	東 龍亮	3D	大塚 美穂	2C	伊藤 周助		
	4D	渡邊 心	3D	渡邊 伶歩	2C	上野 星奈		
	4E	梶田 莉帆	3E	佐藤 稔己	2C	中村 芳人		
	4F	吉田 真菜	3F	留目 葦	2C	渡邊 凜		
					2D	小峰 歩乃佳		
					2D	加藤 来実		

《活動計画案》

企画名	教育学会総会	開催日	5月 日
		実施場所	60周年記念講堂
内容	教育学会学会則第4章第14条に基づき開催する。議題は、同学会則第16条に基づき、運営委員会、後援団体の2025年度決算・活動報告及び2026年度予算案・活動計画案の申請と承認、運営委員会の承認、学会員から提案されたものを行う。		

企画名	教育学科春季定例会	開催日	5月 日
		実施場所	未定
内容	1年生から4年生で、運営委員会が設定する一つのテーマについて話し合い、考える場を設け、新たな考えを取り入れるとともに他学年との交流を図る。		

企画名	学生・教員連絡会(夏)	開催日	未定
		実施場所	板橋キャンパス
内容	教育学会則第3章第11条3項及び第7章第36条に基づき年に2回開催する。学生・教員連絡会(夏)では2026年度教育学会総会で承認された運営委員会、後援団体の活動報告及び予算の中間報告を行う。		

企画名	教育学科秋季定例会	開催日	未定
		実施場所	未定
内容	学生の目線からアンケートを参考に、教育に関するテーマを考える。また、講師の方をお招きし、学会員と共に学ぶ場を設ける。		

企画名	ゼミ説明会	開催日	未定
		実施場所	未定
内容	主に2年生を対象に自分に合ったゼミ選択をする手助けを目的に開催する。各ゼミの4年生の協力を得て、ゼミの研究、活動内容を紹介してもらう。		

企画名	学生・教員連絡会(冬)	開催日	未定
		実施場所	板橋キャンパス
内容	教育学会則第3章第11条3項及び第7章第36条に基づき年に2回開催する。学生・教員連絡会(冬)では2026年度活動報告・決算報告と2027年度活動計画・予算申請の報告及び審議を行う。		

《教育学会の発行物》

発行物	機関紙の発行	機関紙名称	緑育
		発行頻度	年〇回
内容	教育学会会則第1章第4条に基づき、機関紙を発行する。学会の行事、体験談、アンケートなどを中心に様々な情報を伝える。長期休暇を加味し、年〇回の発行を予定。		

発行物	機関誌の発行	機関誌名称	教育学会誌
		発行頻度	年1回発行
内容	教育学会会則第1章第3条に基づき、機関誌を発行する。教員の論文をはじめ、学生の発表などを掲載する。		

## 2026年度 教育学会春季定例会開催計画

行事名	教育学会春季定例会	
統括	学籍番号	25114065
	氏名	小峰 歩乃佳
副統括	学籍番号	25114081
	氏名	笠原 幹太

### 活動内容

実施予定日	2026 年 5 月 <span style="background-color: yellow; padding: 2px;"> </span> 日
実施場所	未定
春季定例会とは	新入生を歓迎し、学年を超えた交流の機会を目的として、開催する。教育学科全体の親睦を深めるとともに、その後の学習と生活に有益な影響を与える場を設ける。
テーマ	MBTIの活用について
テーマ設定の背景	近年、若者を中心にMBTI(性格タイプ指標)が急速に広まり、SNSや日常生活の中でも頻繁に用いられるようになっている。MBTIは、自身の性格傾向や思考・行動の特徴を16タイプに分類するものであり、「自分はどのような人間か」「他者とどのように違うのか」を考えるきっかけとして、多くの人に親しまれている。特に大学生世代においては、友人関係やコミュニケーションの話題としてMBTIが用いられる場面も多く、身近な存在となっている。一方で、MBTIが流行する中で、タイプによる決めつけや相性の良し悪しだけで人間関係を判断するといった問題点も見られるようになっている。本来、MBTIは個人の傾向を理解するための一つの指標であり、優劣をつけたり人を固定的に分類したりするためのものではない。しかし、表面的な理解のまま使用してしまうことで、他者理解を深めるどころか、かえって誤解や偏見を生んでしまう可能性もある。このように、MBTIは自己理解や他者理解を深めるきっかけとなる一方で、使い方を誤ると人を一面的に捉えてしまう危険性も伴っている。そのため、MBTIの特徴や限界を正しく理解し、単なる流行としてではなく、日常のコミュニケーションや人間関係に活かしていく姿勢が求められている。
目的	今回の定例会の目的是、MBTIを通して自分自身と他者の特性の違いを理解し、相手に合わせたコミュニケーションや関わり方を意識できるようになることである。人はそれぞれ考え方や感じ方、行動の傾向が異なっており、その違いを理解することは、円滑な人間関係を築く上で欠かせない。MBTIを一つの視点として活用することで、他者を一方的に判断するのではなく、多様な価値観を尊重する姿勢を身につけることを目指す。また、MBTIを他者と比較するためのものではなく、自己自身の強みや弱みを知り、成長に活かすためのツールとして捉えてもらうことも目的の一つである。MBTIをきっかけに、自分の得意なことや課題に気づき、それを今後の学習や人間関係、将来の進路選択にどのように活かせるのかを考える機会としたい。本活動を通じて、MBTIを流行として消費するのではなく、自己理解と他者理解を深めるための一つの手段として、主体的かつ前向きに活用できる力を育むことを目指す。

## 2026年度教育学会予算案

2026年4月1日～2027年3月31日

項目			前年度予算額	前年度決算額	今年度予算額	
運営委員会	教育学会総会	通信費支出	5,000	11,338	10,000	
		接待交際費支出	6,000	6,000	6,000	
		<b>教育学会総会支出合計</b>	<b>11,000</b>	<b>17,338</b>	<b>16,000</b>	
		春季定例会 消耗品支出	10,000	220	5,000	
	秋季定例会	<b>春季定例会に関する消耗品</b>	<b>10,000</b>	<b>220</b>	<b>5,000</b>	
		消耗品支出	20,000	0	10,000	
		秋季定例会講師への花束代	3,500	3,500	3,500	
		秋季定例会講師への弁当代	1,000	3,000	3,000	
		秋季定例会講師へのお茶菓子代	3,000	0	1,500	
		秋季定例会講師への交通費	0	0	0	
	<b>秋季定例会支出合計</b>			<b>27,500</b>	<b>6,500</b>	
	ゼミ説明会 一般旅費支出	ゼミ説明会講演者への交通費	68,000	17,860	34,000	
	<b>ゼミ説明会支出合計</b>			<b>68,000</b>	<b>17,860</b>	
支出の部	教育学会誌	支払手数料支出	秋季定例会文字起こし	30,000	21,068	
			学会誌印刷製本	350,000	350,000	
			学会誌印刷製本振込手数料	500	500	
	<b>教育学会誌支出合計</b>			<b>380,500</b>	<b>21,068</b>	
	印刷費 印刷製本費支出	会議資料及びイベント資料印刷費	30,000	8,491	15,000	
	<b>印刷費支出合計</b>			<b>30,000</b>	<b>8,491</b>	
	<b>雑費</b>			<b>10,000</b>	<b>770</b>	
	<b>支払い手数料支出</b>			<b>3,000</b>	<b>3,000</b>	
	公開ゼミ	イベント補助費支出	公開ゼミ補助費	60,000	0	
			公開ゼミ予備費	20,000	0	
後援団体	<b>公開ゼミ支出合計</b>			<b>80,000</b>	<b>0</b>	
	<b>運営委員会支出合計</b>			<b>620,000</b>	<b>72,247</b>	
	後援団体補助支出		後援団体大合宿援助支出	507,380	418,655	
			後援団体球技援助支出	141,440	73,358	
			後援団体コンサート援助支出	229,400	111,207	
			後援団体予備費合計	40,000	20,000	
	<b>後援団体支出合計</b>			<b>918,220</b>	<b>623,220</b>	
	その他	大学院生	未還元学会費	0	0	
			研究支援費	28,000	0	
			<b>大学院生支出合計</b>	<b>28,000</b>	<b>0</b>	
			<b>学会費返金</b>	<b>30,000</b>	<b>30,000</b>	
			<b>その他支出合計</b>	<b>58,000</b>	<b>0</b>	
			<b>支出の部 合計</b>	<b>1,596,220</b>	<b>695,467</b>	
					<b>1,513,930</b>	

貴団体の予算申請を受理しました。

[Yellow Box] 年 [Yellow Box] 月 [Yellow Box] 日

教育学会会計

印

教育学会会計

印

2026年度教育学会予算案

2026年4月1日～2027年3月31日

項目			前年度予算	前年度決算	今年度予算	
収入の部	会費収入	入学生学会費	¥7,000×入学生154名			
		編入生学会費				
		大学院生学会費	¥7,000×入学生8名			
		会費収入合計		0	0	
		繰越金				
		利息				
		収入の部 合計		0	0	
支出の部	運営委員会	教育学会総会	通信費支出	教育学会総会資料郵送代		
		接待交際費支出		教育学会総会役員への花束代		
		教育学会総会支出合計		0	0	
		春季定例会	消耗品支出	春季定例会に関する消耗品		
		春季定例会支出合計		0	0	
		秋季定例会	消耗品支出	春季定例会に関する消耗品		
				秋季定例会講師への花束代		
				秋季定例会講師への弁当代		
				秋季定例会講師へのお茶菓子代		
				秋季定例会講師への交通費		
		秋季定例会支出合計		0	0	
		ゼミ説明会	一般旅費支出	ゼミ説明会講演者への交通費		
		ゼミ説明会支出合計		0	0	
		教育学会誌	支払手数料支出	秋季定例会文字起こし		
				学会誌印刷製本		
				学会誌印刷製本振込手数料		
		教育学会誌支出合計		0	0	
		印刷費	印刷製本費支出	会議資料及びイベント資料印刷費		
		印刷費支出合計		0	0	
		雑費				
		支払い手数料支出				
		公開ゼミ	イベント補助費支出	公開ゼミ補助費		
				公開ゼミ予備費		
		公開ゼミ支出合計		0	0	
		運営委員会支出合計		0	0	
後援団体	後援団体補助支出	後援団体大合宿援助支出				
		後援団体球技援助支出				
		後援団体コンサート援助支出				
		後援団体予備費合計				
		後援団体支出合計		0	0	
その他	大学院生	未還元学会費				
		研究支援費				
		大学院生支出合計		0	0	
		学会費返金				
その他支出合計				0	0	
支出の部 合計				0	0	

貴団体の予算申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会会計

印

教育学会会計

印

# 2026 年度 教育学会後援団体活動申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 2 月 20 日

申請者 伊知地 晶 印

団体名	教育学会後援団体 大合宿			
団体責任者	学籍番号	24114124	役職名	代表
	氏名	伊知地晶 印		
副責任者	学籍番号	24114004	役職名	副代表
	氏名	門倉朱星 印		
会計責任者	学籍番号	24114101	役職名	会計
	氏名	星実幸 印		
団体構成	4年生 0 名	3年生 0 名	2年生 4 名	1年生 15 名 合計 19 名

団体構成メンバー ( 2026 年 1 月 31 日現在 )
[ 2 ]年生 [ 1 ]年生 [ ]年生 [ ]年生
伊知地晶 24114124 関根紅葉 25114012
門倉朱星 24114004 川上慶悟 25114017
星実幸 24114101 野村佳菜 25114023
嶋村幸起 24114056 藏田優香 25114026
浦川千尋 25114027
朽木誠 25114028
関口幸 25114029
泉翔 25114039
大原莉子 25114044
小林萌奈 25114060
内藤柊 25114104
上原拓真 25114113
木村美和子 25114115
小川隼司 25114151
孟天樂 25114156

## 活動計画案・企画案

### 【 大合宿 】

企画名	大合宿
実施場所	神奈川県立愛川ふれあいの村(仮)
実施日	9月 3(木) 4(金) 5(土) (仮)
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画を通じて学年関係なく全力で取り組むことの楽しさを2泊3日の共同生活の中で学ぶ。</li> <li>・学年や既存の交流の枠を超えた班で企画に参加することで、自主性や協調性を育み、仲を深める。</li> <li>・「学び」の時間を作り、将来社会に出た際に役立つ知識を得る。</li> <li>・大合宿委員は企画力・運営力・表現力・共同性・責任感を、活動の中で学んでいく。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の立地を活かし、大自然に触れ、地域の文化を知る機会を作り、体験する。</li> <li>・大合宿当日は、会議やレクリエーションの内容に基づき、主に野外炊事やキャンプファイヤー、レクリエーションなどを行う。</li> <li>・担当の企画ごとに会議を行い、その内容をもとに全体での会議を週に一度行う。</li> <li>・施設との連携を取りつつ、大合宿当日のタイムスケジュールを作成する。</li> <li>・1泊2日の実地踏査を通して、大合宿を滞りなく運営できるように綿密に確認を行う。</li> <li>・企画を考案する際、参加者のことを第一に考える。主に企画を通じて交流関係を築くきっかけを得られるか、人間性の成長のきっかけを得られるか、安全面に配慮できているかの3点について重視する。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段かかわりの少ない者同士が企画に参加して活動することで、学年、クラスの壁を越えた交流関係を築き、また協調性や自主性といった人間的成長の機会を得ることができる。</li> <li>・「学び」の時間を通して、将来社会に出た際に役立つ知識を得ることができる。</li> <li>・小学校の校外学習活動のような日常生活では得られない体験を通じ、教員になってからも生かせる知識や体験を得ることができる。</li> <li>・企画を通じ、学年関係なく全力で楽しむことの楽しさを経験することができる。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間との協調性やコミュニケーションの大切さなど、多くの「学び」を得られるものにする。</li> <li>・合宿中での委員間の情報共有や告知を迅速かつ正確なものとする。</li> <li>・参加者に対する休憩時間の終了時刻の伝達や、委員内での本番中の人数変更などの情報共有をより強化する。</li> <li>・他団体や他学年の新しい人間関係を構築できるよう促す。</li> </ul>
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画運営側、参加者側ともにけがの可能性の内容、念入りに会議や趣味レーション、考察を行う。</li> <li>・運動時間や参加者の疲労を考慮して、健康管理対策として水分補給を促し、休憩時間を十分に設けることを徹底する。</li> <li>・けが人、体調不良者が出了場合に備え、救急箱を用意するとともに、施設近くの病院を把握しておき、すぐ連れて行けるように車両も用意する。</li> </ul>

## 活動計画案・企画案

### 【 実地踏査 】

企画名	実地踏査
-----	------

実施場所	神奈川県立愛川ふれあいの村(仮)
実施日	8月 8(土) 9(日) (仮)
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊込みという大合宿に近い環境下でシミュレーションを行い、より参加者の立場に立った対策考察や企画考察を行う。</li> <li>・実践を踏まえた企画考察を行うことで、レクリエーションが安全かつ円滑に行えるようにする。</li> <li>・施設やレクリエーションの入念な確認を行い、大合宿本番でのけが防止対策や感染症防止対策をより充分なものにする。</li> <li>・大合宿本番を想定したタイムスケジュールで行動し、委員の動きの最終確認をする。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1泊2日、委員のみで大合宿当日の流れの確認や企画運営等のシミュレーションを行う。</li> <li>・大合宿本番が安全かつ円滑に行えるよう、各々が考察してきたレクリエーションを委員のみで実践する。</li> <li>・司会と裏方、参加者役に分かれ、本番の流れを確認し流れをつかむ。</li> <li>・本番と同じ流れで行い、安全面にも不足がないか確認する</li> <li>・実際の施設での移動時間や、移動ルートを確認し大合宿当日に、大合宿委員全員が誘導できるようにする。</li> <li>・その後の会議で反省を行い、大合宿本番に向けて準備を行う。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大合宿本番で臨機応変な対応ができるように準備しておくことができる。</li> <li>・宿泊こみのシミュレーションを行うことで、入念な確認ができる。</li> <li>・大合宿当日と同じ施設で行うことで、施設内の把握に繋がる。</li> <li>・大合宿本番のタイムスケジュールを把握できる。</li> <li>・委員の動きの最終確認ができる。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調を崩した人がいることを想定して、薬を用意しておく等、より充分な対策をする。</li> <li>・実際の参加者を想定した動きをする。</li> </ul>
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我の可能性がないよう、入念に会議とシミュレーションを行う。</li> <li>・企画運営側、参加者側ともに怪我の可能性のないよう、念入りに会議やシミュレーション、考察を行う。</li> <li>・運動時間や参加者の疲労を考慮して、健康管理対策として水分補給を促し、休憩時間を充分に設けることを徹底する</li> <li>・怪我人、体調不良者が出了場合に備え、救急箱を用意するとともに、施設近くの病院を把握しておき、すぐ連れていくように車両を用意する。</li> </ul>

## 活動計画案・企画案

### 【 シミュレーション 】

企画名	シミュレーション
実施場所	緑山キャンパス 体育館・グラウンド
実施日	2026年 2月中旬から8月下旬
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日を想定したレクリエーションを行うことで、安全かつ円滑に行えるようにする。</li> <li>・レクリエーションの改善策を見つける。</li> </ul>

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大合宿委員で、大合宿本番が安全かつ円滑に行えるように各々が考察してきたレクリエーションを実践する。</li> <li>・司会と裏方、参加者役に分かれ、本番の流れを確認し雰囲気をつかむ。</li> <li>・本番と同じ流れで行い、安全面に不足がないか確認する。</li> <li>・その後の会議でシミュレーションの反省を行い、大合宿本番に向けて準備していく。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大合宿本番に臨機応変な対応ができるように準備しておくことができる。</li> <li>・レクリエーションの改善点を見つけることができる。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用する施設を緑山キャンパスに統一する</li> <li>・体調を崩した人が出ることを想定して、薬を用意しておくなど、より充分な対策をする。</li> </ul>
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我の可能性がないよう、入念に会議とシミュレーションをおこなう。</li> <li>・企画運営側、参加者側ともに学表の可能性のないよう、恋入りに会議、シミュレーションをおこなう。</li> <li>・運動時間や参加者の疲労を考慮して、健康管理対策として水分補給を促し、休憩時間を充分に設けることを徹底する。</li> <li>・怪我人未然防止が出了場合に備え、救急箱を用意するともに、施設近くの病院を把握しておき、すぐ連れていくように車両も用意しておく。</li> </ul>

貴団体の申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会運営委員会委員長

印

# 2026 年度 教育学会後援団体予算申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2026 年 2 月 20 日

申請者 星 実幸 印

団体名	教育学会後援団体 大合宿			
団体責任者	学籍番号	24114124	役職名	代表
	氏名	伊地知 昌		印
団体副責任者	学籍番号	24114004	役職名	副代表
	氏名	門倉 朱星		印
会計責任者	学籍番号	24114101	役職名	会計
	氏名	星 実幸		印
後援助成金予算案総額		463,690	円	

## 補助金使用用途及び申請額

項目	詳細	金額
大合宿	・ペーパー 110円×11=1,210円 ・ダスター 110円×11=1,210円 ・スポンジ 110円×3=330円 ・紙コップ 110円×4=440円 ・洗剤 110×2=220円 ・皮むき器 110円×7=770円 ・チャッカマン 110×7=770円 ・クレンザー 110円×2=220円	5,170 円
	・緊急車両ガソリン代(往復) 10,000円×1=10,000円	
	・緊急車両レンタル代 35,860円×1=35,860円	
	・緊急車両有料道路代(往復) 5,000円×1=5,000円	
	・打合せ車両レンタル代 8,910円×1=8,910円	
	・打合せ車両ガソリン代(往復) 5,000円×1=5,000円 ・打合せ車両有料道路代(往復) 5,000円×1=5,000円	
旅費交通費支出		円
事業主貸	・キャンプファイヤー(トーチ代込み) 7,300円×1=7,300円	21,300 円
	・野外炊事バタ薪代 700円×20=14,000円	
予備費		円
		96,240 円
実地踏査	・ペーパー 110円×1=110円 ・ダスター 110円×1=110円 ・スポンジ 110円×1=110円 ・紙コップ 110円×1=110円 ・洗剤 110×1=110円 ・皮むき器 110円×3=330円 ・チャッカマン 110×3=330円 ・クレンザー 110円×1=110円	1,320 円
	・緊急車両ガソリン代(往復) 10,000円×1=10,000円	
	・緊急車両レンタル代 24,090円×1=24,090円	
	・緊急車両有料道路代(往復) 5,000円×1=5,000円	
	・バス代 150,000円×1=150,000円 ・バス有料道路代(往復) 21,240円×1=21,240円 ・バス消費税 150,000円×1=15,000円	
	・キャンプファイヤー(トーチ代込み) 7,300円×1=7,300円 ・野外炊事バタ薪代 700円×2=1,400円	
旅費交通費支出		186,240 円
事業主貸	・キャンプファイヤー(トーチ代込み) 7,300円×1=7,300円	21,300 円
	・野外炊事バタ薪代 700円×2=1,400円	
予備費		円
		247,950 円

年間支出	消耗品費支出	・文房具代(ペン、テープ類、画用紙、のり、ボンド、ホチキス、輪ゴム、など) 67,000円 ・医療費(冷えピタ、絆創膏大、絆創膏小) 1,500円	68,500 円
	制作物費支出	・(1日目、2昼、2夜、3日目、開閉会式、通し) 38,000円 ・キャンプファイヤーシュミレーション代 10,000円 ・プール 3,000円	51,000 円
	印刷製本費支出		円
	予備費		円
			119,500 円

合計 463,690 円

貴団体の予算申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会会計 印

---

教育学会会計 印

---

# 2026 年度 教育学会後援団体活動申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2025 年 2 月 20 日

申請者 安川和希 印

団体名	教育学会後援団体 球技			
団体責任者	学籍番号	24114123	役職名	代表
	氏名	安川和希 印		
副責任者	学籍番号	24114027	役職名	副代表
	氏名	和田逢夢 印		
会計責任者	学籍番号	24114058	役職名	会計
	氏名	高坂明香 印		
	学籍番号	24114021	役職名	会計
	氏名	長谷心優 印		
団体構成	4年生 0 名	3年生 10 名	2年生 10 名	1年生 0 名 合計 20 名

団体構成メンバー ( 2025 年 1 月 7 日現在 )

[ ]年生	[ 3 ]年生	[ 2 ]年生	[ ]年生
	安川和希 24114123	竹村太樹 25114082	
	和田逢夢 24114027	高波葉奈 25114092	
	高坂明香 24114058	能瀬遼太 25114135	
	長谷心優 24114021	加藤晴輝 25114141	
	加藤愛理 24114042	横山美咲 25114043	
	大槻麗和 24114032	千石琢真 25114015	
	野中晴陽 24114057	森田淳也 25114111	
	田村向日葵 24114060	森田里子 25114101	
	佐藤丈 24114010	石原陽 25114038	
	鉢嶺真 24114143	情野ひまり 25114021	

## 活動計画案・企画案

### 【活動計画・企画】

企画名	球技大会
実施場所	・秋季大会…緑山キャンパス(予定) ・冬季大会…東松山キャンパス総合体育館(予定)
実施日	・秋季大会…9月20日(予定) ・冬季大会…12月13日(予定)
目的	・同学年、他学年の交流する機会を増やす。 ・体を動かす場を提供し、運動する楽しさを共有する。 ・スポーツや運動、体の健康に関わる企画を体験することで、将来の糧となる知識を身につける。
内容	・秋大会、冬大会の2回、球技大会を開催予定。 ・2024年の大会事後アンケートなどから参加者の意見を参考に、各大会の種目や企画を決定する。 ・シミュレーションや会議を通して、未経験者や経験者に関係なく、すべての参加者が楽しめる球技大会ならではのルールや種目を決める。 ・球技大会時に、スポーツや運動、健康に関連した企画を行う。
効果	・スポーツを通して同学年、他学年と交流し、親睦を深める。 ・健康な体づくりの重要性を再確認し、自らの健康管理に関心を持たせる。 ・私生活、学校生活では体験できなあいような企画や実践的な活動を通して、視野を広げると共に、より一層深い学びを得る。
改善策	・秋大会の諸連絡不足(ゴミ箱の場所、使っていい部屋、出入り禁止の場所、試合の〇分前に集まってください、保健室の説明)を伝えそびれてしまい、混乱を招いてしまった。今年度以降、開会式の時間で諸連絡の時間を設け、少しでも参加者の混乱を招かないようにする。 ・講師を実際に呼ぶことになったことで、なかなか連絡がつかず当日ギリギリまで予定が不明確になってしまった。講師はいつ頃までに内容を決めるかを事前に決めておいて、こまめに連絡をして確認する。 ・委員の荷物管理ができていなく、体育館入り口前の椅子のところに忘れ物をいくつかしてしまった。今年度以降講義室を借用し、荷物管理を徹底する。
安全対策	・救急道具を用意し、適切な手当てができるようにする。 ・保健係だけでなく全員が、怪我人が出た際の搬送病院や、対応について理解する。 ・熱中症や防寒対策を、各自しっかりと行うように参加者に呼びかけをする。 ・種目を行う前の準備体操を入念に行い、さらに各自での実施を促す。 ・試合中の危険な行為や、暴言など相手を挑発する行為に対して強く注意する。 ・マスクの着用は参加者に判断を委ね、試合後などのこまめな手洗い、うがい、アルコール消毒への協力を呼びかける。

貴団体の申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会運営委員会委員長

印

# 2026 年度 教育学会後援団体予算申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2026 年 2 月 20 日

高坂明香 印

申請者

長谷心優 印

団体名	教育学会後援団体 球技			
団体責任者	学籍番号	24114123	役職名	代表
	氏名	安川和希		
副責任者	学籍番号	24114027	役職名	副代表
	氏名	和田逢夢		
会計責任者	学籍番号	24114058	役職名	会計
	氏名	高坂明香		
	学籍番号	24114021	役職名	会計
氏名	長谷心優			印
後援助成金予算案総額	134,000 円			

## 補助金使用用途及び申請額

項目	詳細		金額
秋大会	用品費支出	未定	円
	接待交際費支出	講師謝礼代	20,000 円
	搬送車両費支出	レンタル代、ガソリン代	30,000 円
	事業主貸	東松山市民体育館借用代	12,000 円
秋大会支出合計			62,000 円
冬大会	用品支出	未定	円
	接待交際支出		0 円
	搬送車両費支出	レンタル代、ガソリン代	30,000 円
	事業主貸	東松山市民体育館借用代	12,000 円
冬大会支出合計			42,000 円
年間支出	消耗品費支出	色ペン、養生テープ、布テープ、12000円 参加者景品代、4000円	16,000 円
	接待交際費支出		0 円
	搬送車両費支出		0 円
	印刷製本費支出	委員用しおり/委員用ルールプリント 2円×1000×2回=4000円	4,000 円
	予備費	その他緊急時の費用、10000円	10,000 円
年間支出合計			30,000 円

合計 134,000 円

貴団体の予算申請を受理しました。

年  月  日

教育学会会計

印

教育学会会計

印

# 2026 年度 教育学会後援団体活動申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2026 年 2 月 20 日

申請者 渡邊 獅成 印

団体名	教育学会後援団体 コンサート(ミュージック&ダンス)			
団体責任者	学籍番号	24114026	役職名	代表
	氏名	渡邊 獅成 印		
副責任者	学籍番号	24114084	役職名	副代表
	氏名	尾白 大和 印		
	学籍番号	24114137	役職名	副代表
	氏名	佐取 陽太 印		
会計責任者	学籍番号	24114006	役職名	会計
	氏名	山中 真緒 印		
団体構成	4年生 18 名	3年生 13 名	2年生 11 名	1年生 0 名 合計 42 名
団体構成メンバー ( 2026 年 1 月 31 日現在 )				
[ 4 ]年生	[ 3 ]年生	[ 2 ]年生	[ 1 ]年生	
福島 権志 23114001	山中 真緒 24114006	近藤 結芽 25114006		
山崎 光 23114010	善光 萌々香 24114018	野村 心里 25114018		
細井 雄也 23114011	岸 玲奈 24114019	大場 菜々珠 25114022		
相馬 百恵 23114013	渡邊 獅成 24114026	佐藤 千桜里 25114032		
北岡 大樹 23114041	亀山 心美 24114030	吉田 亜美 25114045		
前田 陽 23114057	福田 明香里 24114039	早苗 遥希 25114058		
高橋 涼介 23114059	高橋 悠 24114080	酒巻 朝陽 25114071		
成澤 朋 23114060	尾白 大和 24114084	畠 沙弥香 25114073		
三好 雛菜 23114063	高橋 優姫 24114089	向出 樹矢 25114112		
莊司 真 23114069	下條 未来 24114107	佐竹 惺成 25114118		
新井 真一郎 23114080	佐藤 稜己 24114117	小川 瑞那 25114160		
中田 健太 23114081	齊藤 優月 24114135			
井口 韶 23114090	佐取 陽太 24114137			
岸根 明花 23114112				
酒井 祥大 23114113				
山崎 青空 23114123				
梶田 莉帆 23114126				
船水 悠花 23114133				

## 活動計画案・企画案

### 【 活動計画・企画 】

企画名	第50回教育学科コンサート
実施場所	東松山キャンパス60周年記念講堂(予定)
実施日	2026年11月14日(土) (未定)
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・一人ひとりが音楽を楽しむことで、個々の音楽活動への関心を深める。</li><li>・音楽授業の成果を発揮する。</li><li>・学会員が主体となって協力し、発表を作り上げる。</li><li>・学科内でクラス、学年を超えた交流を深める。</li><li>・共催実行委員会の成果を生かして教員、学生との学科内のつながりを深める。</li></ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・本番が円滑に進むように会議(週1回)、会場設営、リハーサルを行う。</li><li>・共催実行委員を通して学科のつながりを深めるよう務める。</li><li>・参加者が楽しく、学びある行事づくりを務める。</li><li>・本番当日は各団体の発表の運営を行う。</li></ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・一つのものをみんなで協力し作り上げることで、感動や達成感共有する。</li><li>・クラス単位での交流を深める。</li><li>・学科の活動として、教育学科の団結力を高める。</li><li>・一つの作品を作る過程を通して、日常的な学級づくりや音楽会、学芸会などを運営する力を養う。</li></ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>・本番までにしっかりとリハーサルを行う。</li><li>・各団体や参加者と十分な連絡を取る。</li><li>・教員との連絡を早めに行う。</li></ul>
安全対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・救急箱を用意し、けが人が出た場合に備える。</li><li>・講堂内の空気循環のため、換気を行う。</li><li>・ステージ上の配線をガムテープで固定する。</li></ul>

貴団体の申請を受理しました。

2026 年 [ ] 月 [ ] 日

教育学会運営委員会委員長

印

# 2026 年度 教育学会後援団体予算申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2026 年 2 月 20 日

申請者 山中 真緒 印

団体名	教育学会後援団体 コンサート(ミュージック&ダンス)			
団体責任者	学籍番号	24114026	役職名	代表
	氏名	渡邊 獅成		
副責任者	学籍番号	24114084	役職名	副代表
	氏名	尾白 大和		
会計責任者	学籍番号	24114137	役職名	副代表
	氏名	佐取 陽太		
後援助成金予算案総額	261,740 円			

## 補助金使用用途及び申請額

項目	詳細	金額
消耗品費支出	銀テープ 300円×25個=7500円 養生テープ 300円×25個=7500円 紙ガムテープ 150円×2個=300円 画用紙、模造紙、色画用紙 10000円 ビニールテープ 110円×4個=440円 クリアファイル 1000円 半紙 300円 のり、両面テープ、接着剤 800円 油性マーカー 3000円	30,840 円
用品費支出	ベースアンプ 57000円 変換ケーブル 3000円	60,000 円
企画費支出	なし	0 円
制作物費支出	オープニングアクトの小道具費 5000円	5,000 円
印刷製本費支出	プログラムのコピー代 2000円 ポスター印刷代 1000円	3,000 円
接待交際費支出	花束代 6000円	6,000 円
横看板制作費支出	500ml絵具6色セット 6600円 170ml絵具 550円×30個=16500円 ケント紙 5000円 水張テープ 1000円 ブルーシート(1m×3m) 2000円 クリアコップ 700円 バケツ 500円×2個=1000円 ハケ 200円×4個=800円 カッター 400円×2個=800円 カッター板 1000円×2個=2000円	36,400 円
映像関係制作費支出	大東スクラム撮影代	60,000 円
搬送車両費支出	レンタカー代 1台前泊20時～本番当日20時 10000円 ガソリン代 3000円	13,000 円
企画補助費支出	各クラス企画材料代 2500円×15クラス 37500円	37,500 円
予備費		10,000 円

合計

261,740 円

貴団体の予算申請を受理しました。

[REDACTED] 年 [REDACTED] 月 [REDACTED] 日

教育学会会計

印

教育学会会計

印

# 2026 年度 教育学会後援団体活動申請案

申請先：教育学会運営委員会

申請日 2026 年 2 月 20 日

申請者 井口 韶 印

団体名	教育学科共催行事実行委員会				
団体責任者	学籍番号	23114090		役職名	委員長
	氏名	井口 韶			印
副責任者	学籍番号	23114080		役職名	副委員長
	氏名	新井 真一郎			印
団体構成	4年生	18 名	3年生	12 名	2年生 若干名      1年生 若干名      合計 30 名
団体構成メンバー	( [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日現在 )				
[ 4 ] 年生	[ 3 ] 年生	[ 2 ] 年生	[ 1 ] 年生		
福島 権志 23114001	山中 真緒 24114006	参加希望者のみ	参加希望者のみ		
中田 健太 23114081	善光 萌々香 24114018				
庄司 真 23114069	岸 玲奈 24114019				
井口 韶 23114090	渡邊 獅成 24114026				
山崎 光 23114010	亀山 心美 24114030				
細井 雄也 23114011	福田 明香里 24114039				
船水 悠花 23114133	高橋 悠 24114080				
相馬 百恵 23114013	尾白 大和 24114084				
長岡 遼青 23114023	高橋 優姫 24114089				
岸根 明花 23114112	下條 美來 24114107				
北岡 大樹 23114041	佐藤 稔己 24114117				
酒井 祥大 23114113	齋藤 優月 24114135				
前田 陽 23114057	佐取 陽太 24114137				
高橋 涼介 23114059					
成澤 朋 23114060					
山崎 青空 23114123					
新井 真一郎 23114080					
梶田 莉帆 23114126					
三好 離菜 23114063					

## 活動計画案・企画案

### 【活動計画・企画】

企画名	教育学科共催実行委員会
実施場所	板橋校舎1号館地下教室
実施日	月1度程度
概要	後援団体の上位組織として去年度と同様、「教育学科・共催行事実行委員会」の設置を引き続き提案する。共催行事実行委員会とは、主にコンサート委員の3・4年生と教員3名程度を構成員とする組織であり、主としてコンサートの企画、仕組みの検討等を行うことを目的としている。教育学科コンサートは学科行事であり、教員と学生の双方で創り上げていくイベントであり、両者間の情報連携が必要不可欠である。したがって、教員と学生がコミュニケーションをとり「ともに語りあう場」を創ることを軸にコンサート本番までの準備を行っていきたいと考える。なお、コンサート本番の会場設営等の実務に関しては、従来通りコンサートがその役割を受け持つ。
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・教員と学生とのやり取りを活発化させ、学生と教員が一体となって盛り上げ、参加できるイベントづくりをする。</li><li>・教員と学生との間の連携を高め、すべての先生方に対して連絡漏れのないよう橋渡しを行う。</li><li>・教員と学生が対等な関係で建設的に議論できる場を設け、意思疎通と情報共有を図るとともに、コンサートの質の向上と新たな試みを検討するための場をつくる。</li></ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・日時、スローガン等の決定</li><li>・講評基準の協議</li><li>・コンサートでの決定事項の共有</li><li>・問題点や困っている事項の議論、教員からのアドバイスや提案</li><li>・スケジュールの確認・決定</li></ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・教員とのやり取りを活発化させ、情報共有において連絡漏れ等を防ぐ</li><li>・教員と学生の建設的な議論を通して、幅広い意見を踏まえながらより質の高いコンサートを創り上げる</li><li>・コンサートを通じて反省を共に行い、問題点、改善点を共に模索することができる。</li></ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>・教員との連絡の行き違いが生じることがあったため、全員が見える場での連絡を徹底する。</li><li>・参加する委員が不明確であったため、役割の重要性を再確認し、主体的にかかわれるようとする。</li><li>・4年生の教育実習などが重なった際でもスムーズに進行できるように、事前に代役を立てておく体制を整える。</li><li>・会議の内容の周知が足らずに認識の行き違いが生じることがあったため、会議の議事録の周知の徹底や口頭での報告を徹底する。</li></ul>

貴団体の申請を受理しました。

[ ] 年 [ ] 月 [ ] 日

教育学会運営委員会委員長

印

学生・教員連絡会 第【 3 】号議案  
申請日 2026 年 2 月 20 日  
申請者 遠藤 雅也

## 後援団体用口座開設断念の報告

### ●報告内容

教育学会後援団体の団体口座の設立断念

### ●目的

2025年度に開催された夏の教員連絡会において、球技・大合宿・コンサートそれぞれの団体口座を作成するという報告をさせていただきました。その後、ゆうちょ銀行やみずほ銀行と連絡を取り作成に取り組んできました。経緯としては、後援団体の活動では銀行側が求めている口座作成に満たした基準に達していないという話をいただき、これ以上口座作成に取りかかることは困難であると判断いたしました。

## 学生・教員連絡会【4】号議案

申請日 2025年2月18日  
申請者 渡邊 伶歩

# 機関紙『緑育』の発行回数変更の提案

## ●提案内容

現在、年7回の発行を行っている機関紙『緑育』を、年3回の発行に変更することをここに提案する。

## ●目的

昨年度、発行頻度を年間7回としていたが、思うように発行が進まず、現時点までで2回しか発行できていない。理由として、学業と運営委員を両立することができず発行する頻度に行動がついていっていない状態が続いていたことが挙げられる。

発行月をあらかじめ設定し、期日までに担当運営委員が発行作業を行うものとする。発行頻度は3回であり、以下の通りを予定している。

	名称	発行月	主な内容	備考
①	入学おめでとう号	4月	教育学会の紹介、教員挨拶など	
②	7, 8月号	8月	総会決議内容、前期振り返りなど	
③	年末年始号	1月	1年の振り返りなど	

## ●備考

機関紙『緑育』は教育学会則第1章第4条2項に基づき今後も発行するものとする。

## 教育学会学会則

### 第1章 総則

#### 第1条 〈名称〉

本会は、大東文化大学教育学会と称する。

#### 第2条 〈本部〉

本会の本部は、東京都板橋区高島平1-9-1  
大東文化大学教育学科に置く。

#### 第3条 〈目的〉

本会は、文学部教授会の承認に基づき、教育  
学の研究を推進し、あわせて会員相互の交  
流・提携を計ることを目的とする。

#### 第4条 〈事業〉

本会は、会則第3条の目的を達成するため、  
次の事業を行う。  
1 研究会及び講演会  
2 学会誌及び機関紙の発行  
3 その他要請に応じて、本会の目的の達成  
に必要な事業又はその後援

#### 第5条 後援については、後援規約にこれを定める。

### 第2章 会員

#### 第6条 〈会員構成〉

本会は、次の四類の会員によって構成され  
る。

- 1 [正会員]本学教育学科在学生
- 2 [PG会員]本学大学院教育学専攻在学生  
(※ PG =Post Graduate)
- 3 [特別会員]本学教育学科専任教員、本学  
教育学科特任教員
- 4 [協力会員]本学教育学科担当事務職員

#### 第7条 〈会費〉

本会は、会費の納入と返還について次のよう  
に定める。なお、その金額は別に定めるもの  
とする。

- 1 正会員及びPG会員は、それぞれの課程  
への入学時に所定の額を会費として納入  
する。その際、正会員の会費とPG会員  
の会費は、それぞれ別途に管理・執行す  
るものとする。
- 2 正会員及びPG会員が所定の在学期間を  
待たず退学または除籍となったときは、  
納入した会費の一部の返還を受ける。な  
お、5月1日において在学する学生は当  
該学年に1年間を在学したものとみなす。
- 3 編入学者は、編入学時の学年に応じて減  
免された額を納入する。

#### 第8条 〈会員の権利〉

本会の全ての会員は、本会の事業の運営につ  
いて発言する権利を有する。但し、正会員以  
外の各類の会員は、本会の機関決定において  
決議権をもたない。

#### 第9条 〈会員の権利〉

本会の全ての会員は、本会の機関の傍聴権、  
関係書類の閲覧権及び関係行事への参加権を  
有する。

#### 第10条 〈会員の義務〉

本会の全ての会員は、本会の会則及び総会の  
決議に服さなければならない。但し、総会の  
決議内容が教員の学科協議会の意向と齟齬を  
きたした場合は、その限りではなく、別途定  
める調整手続きに委ねられる。

### 第3章 機関及び役員

#### 第11条 本会は、第3条の趣旨を実現するため、次の 機関を置く。

- 1 総会
- 2 運営委員会
- 3 学生・教員連絡会

#### 第12条 本会は、次の役員を置く。

- 1 会長 1名 (教育学科主任)
- 2 運営委員長 1名 (正会員)
- 3 会計監査員 2名 (正会員1名、非正会  
員1名)

なお、各役員に関する規定の詳細は、第7章  
の補充規定にこれを定める。

### 第4章 総会

#### 第13条 〈総会の性格〉

総会は本会の正式決議機関である。

#### 第14条 〈開催の条件〉

総会は、原則として年度内に一回、定例総会  
として開催される。また、以下の条件のいづ  
れかを満たした場合には、臨時総会が開催さ  
れる。

- 1 正会員の1/3以上の要求があった場合
  - 2 運営委員会が決議によって開催を求めた  
場合
  - 3 会長が総会開催を必要と認めた場合
- なお、総会の開催にあたっては、会長の承認  
をもとに、運営委員長がこれを召集する。

#### 第15条 〈総会出席義務と委任状〉

正会員は、原則として全員が総会に出席する  
ものとし、議事は出席正会員の過半数によっ  
て可決するものとする。

#### 第16条 〈総会の任務〉

総会は、次の事項を審議・議決する。

- 1 運営委員会役員の承認
- 2 決算報告・予算案の審議と承認
- 3 第4条に基づく諸事業の活動報告と活動  
計画の審議と承認
- 4 会計監査員 (学生・教員とも) の承認
- 5 会則の改廃
- 6 その他、会長及び運営委員会が認めた必  
要事項

#### 第17条 〈総会の運営〉

総会の運営は、運営委員会の責任によって執  
り行われる。

### 第5章 運営委員会

#### 第18条 運営委員会は、第3条・第4条の規定に基づき、 本会の年間業務が円滑に進められるよう活動す る責任執行機関である。

- 第19条 運営委員会は、原則として各クラス1名以上の正会員代表によって構成される。但し、事情によって委員の増員を妨げない。
- 第20条 運営委員会の任期は、総会で承認された第2学年次から2年間とする。任期途中に委員を交代補充する場合は、残任期間をその任期とする。なお、1年次は準運営委員として活動し、運営委員会において決議権を有する。準運営委員は、各クラスと運営委員会とによって承認されなければならない。また、任期を終えた運営委員は在学中、決議権をもたない参与として運営委員会に協力するものとする。
- 第21条 個別の運営委員が任期中に辞任する場合は、クラスの了承を得た上で運営委員会にその旨を申請し、承認を得なければならない。また、委員を補充する場合には、4週間以内に同じ選出母体（クラス）より補充するものとする。
- 第22条 個別の運営委員の辞任に際しては、当該クラスに1名以上の運営委員が残任していかなければならない。
- 第23条 運営委員会の人数構成において、第4条に基づく本会の事業執行に支障をきたすと判断されるような事情が生じた場合には、運営委員長は、委員の増員をクラスに要請できる。この要請が行われた際には、4週間以内に必要な人員の更なる補充を行うものとする。
- 第24条 運営委員会は、会務の執行のため、委員の互選により次の常任役員を置く。選出された役員は、総会に報告し承認されなければならない。役員の任期は1年とするが、再任を妨げない。
- 1 委員長 1名
  - 2 副委員長 2名
  - 3 書記 2名
  - 4 会計 2名
- 第25条 運営委員会は、原則として学期中、毎週1回開催するものとし、委員長がこれを招集する。
- 第26条 運営委員会の開催にあたり委員が欠席する場合には、委任状をもって出席扱いとすることができる。議事は、出席委員の過半数の賛成をもって可決し、可否同数の場合は委員長の決するところとする。
- 第27条 運営委員会の議事を傍聴する権利は、四類の会員全てに認められる。
- 第28条 書記役員は、次のものを含む本会に関する一切の公的書類の記録・保管・引き継ぎにあたらなければならない。
- 1 会則
  - 2 運営委員会その他の会議録
  - 3 学会事業に関する活動記録
  - 4 公式通信文その他の公的記録
- 第29条 運営委員会役員として不適格と疑われる事態が生じた場合は、正会員の1/4以上の署名をもってリコールを申請することができる。この申請は可及的速やかに第14条の規定に基づき総会に付され、総会出席者の2/3以上の賛成をもってリコールは成立する。リコールが成立した場合は、4週間以内に改選を実施する。

## 第6章 会計

- 第30条 本会の会計は、会費及び寄付金をもってこれに充てる。
- 第31条 本会の会計の収支決算は会計監査員がこれを監査し、その結果を総会に報告しなければならない。
- 第32条 本会の会計年度は、4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第33条 会計役員は、協力会員（事務職員）の援助を仰ぎつつ、本会に関する一切の会計の出納業務にあたる。また、会計に関する一切の記録の保管に責任をもつ。

## 第7章 指定規定

- 第34条 本会会長は、教育学科主任とする。会長は、通常会務の重要事項について運営委員長から相談をうけ意見を述べるとともに、対外的に本会を代表する。
- 第35条 本会の活動を支援するため、教育学科（教員組織）は、その職務分担の内に、教育学会担当委員を毎年少なくとも3名配置する。そのうちの1名が、本会の会計監査員を務める。
- 第36条 本会と教育学科との連携・協力を強めるため、教育学会「学生・教員連絡会」を設置し、原則として年度内に2回開催するものとする。この連絡会は、教員側担当委員チーフと学生側運営委員長との合意に基づいて共同招集され、会の運営も共同司会によるものとする。招集される出席者は以下のとおりとする。
- 1 正会員（学生）運営委員、常設後援団体代表、その他必要と認められた団体代表
  - 2 特別会員（教員）学会担当委員
  - 3 協力会員（事務職員）文学部事務室教育学科担当職員
- なお、本連絡会を傍聴する権利は、四類の会員全てに認められる。
- 第37条 本会の事業を推進するにあたって、正会員集団（学生側）の意向と特別会員集団（教員側）の意向に齟齬が生じた場合には、上記の「学生・教員連絡会」において調整を図るものとする。なお、調整の結果として合意の得られない事項は、執行を見合わせなければならない。この調整は、合意の得られるまで続行されるものとする。

## 第8章 付則

- 第38条 本会則は
- |             |          |
|-------------|----------|
| 昭和47年4月1日   | 制定       |
| 昭和52年4月1日   | 一部制定     |
| 昭和53年11月28日 | 全面改正     |
| 昭和59年4月27日  | 全面改正     |
| 平成元年6月21日   | 全面改正     |
| 平成3年11月19日  | 一部制定及び改正 |
| 平成16年4月28日  | 一部改正     |
| 平成26年5月14日  | 全面改正     |
| 平成30年5月16日  | 一部改正     |
| 令和7年5月21日   | 一部改正     |
- 第39条 本会則を改正した場合、改正承認と同時に有効とする。

## 後援規約

- 第1条 教育学会は、会則第3条に定められた目的に該当すると認められる活動に対して、当該団体及び個人の申請により、その活動を後援する。
- 第2条 後援を申請する団体及び個人（以下申請を認められた団体を後援団体と呼ぶ）は、次の条件を満たしていなければならない。
- 1 教育学会員によって構成されている団体及び個人であること。
  - 2 活動・事実の目的が会則第3条に該当すること。
  - 3 原則として、全会員が参加できる活動事業であること。
- 第3条 1 後援団体は、運営委員会で指定する申請期間内に同委員会に申請することを原則とする。申請期間とは、申請用紙を受理する期間であり、後援を承認するか否かの審議は、別日に行うものとする。
- 2 上記の申請期間の例外として、活動予定日の30日以前に運営委員会に申請したものに関しては、これを考慮する。
- 第4条 1 後援に関する一切の審議事項は、出席委員の過半数の賛成をもって決定する。
- 2 運営委員が後援団体に属している場合は、後援承認の審議の議決に関与できない。
- 第5条 運営委員会は、常に後援団体の活動を把握しないければならず、そのため必要に応じて報告の要請を行う。
- 第6条 1 後援団体は、必要に応じて運営委員会の要請を受け、報告を行う。
- 2 交付した補助金が本規約第1条に定められた主旨にそって使われているかを確認する。
- 3 運営委員会は、後援団体の企画に対する意見を述べることはできない。但し、後援団体の要望があるときは、その限りではない。
- 第7条 1 後援団体に対しては運営委員会の規定に基づき補助金を交付する。
- 2 補助金を交付される後援団体は、会計責任者を置かなければならない。
- 3 補助金を交付される後援団体は、運営委員会に予算案を提出しなければならない。
- 4 補助金は、運営委員会の査定により、年間の後援費の中からこれを交付する。
- 第8条 運営委員会は後援団体の報告を受けた後、その報告に基づいて後援団体の行った活動について意見を述べることができる。
- 第9条 後援団体は、活動終了後運営委員会の定めた期日までに同委員会に収支決算を含めた活動報告書を提出しなければならない。

## 〈付則〉

- 1 本会則は
- 昭和53年5月23日 制定
  - 昭和56年5月20日 一部改正
  - 昭和59年4月27日 一部改正
  - 昭和61年4月24日 一部改正
  - 平成元年6月21日 一部改正
  - 平成3年11月19日 一部制定及び改正
  - 平成10年6月1日 一部改正

平成25年5月15日 一部改正

- 2 本規約を改正した場合、改正承認と同時に有効とする。

## 教育学会会費規程

- 第1条 〈趣旨〉

教育学会会則第7条に基づき、会費の金額、納入および返還に関する規程を定める。

- 第2条 〈納入〉

正会員およびPG会員は、入学手続き時に7,000円を会費として納入する。

- 第3条 〈返還・減免〉

会費の返還額は次の通りにする。

- 1 学生会員・PG会員が、所定の在学期間を待たず退学または除籍となったときは、当該学生会員が納入した会費の額から次の額の返還を受ける。

	正会員	PG会員
第1学年次(5月1日以降)に退学・除籍	6,000円	4,000円
第2学年次(5月1日以降)に退学・除籍	4,000円	0円
第3学年次(5月1日以降)に退学・除籍	2,000円	
第4学年次(5月1日以降)に退学・除籍	0円	

2 編入学者は、入学時に学会費を納入する際に、編入学時の学年に応じて、学会費の減免を受ける。

	正会員
第2学年次に編入	6,000円
第3学年次に編入	4,000円

- 第4条 〈改正〉

この規定の改廃は、学生・教員連絡会の審議を経て、総会にて行う。

## 〈付則〉

- 1 本会則は

平成30年5月16日 制定  
令和6年5月14日 一部改正

- 2 本規程を改正した場合、改正承認と同時に有効とする。